

「胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）」に対するパブリックコメントの分類一覧表

記号	分類内容	件数	頁
A	建設候補地に関するもの	26 件	2 頁
B	建設候補地及び概算事業費・予算に関するもの	1 件	8 頁
C	建設候補地及びこれまでの事業推進の経緯に関するもの	1 件	9 頁
D	建設候補地及び意見聴取の必要性に関するもの	2 件	10 頁
E	建設候補地及び施設内容に関するもの	8 件	11 頁
F	建設候補地、概算事業費・予算及び施設内容に関するもの	3 件	17 頁
G	建設候補地、これまでの説明不足及び今後の説明の徹底に関するもの	1 件	19 頁
H	建設候補地、概算事業費・予算、施設内容及び意見聴取の必要性に関するもの	1 件	20 頁
I	建設候補地、概算事業費・予算、施設内容、これまでの事業推進の経緯及び計画の個別の記載内容に関するもの	1 件	22 頁
J	施設内容に関するもの	7 件	23 頁
K	計画の個別の記載内容に関するもの	1 件	27 頁
L	概算事業費・予算及び施設内容に関するもの	1 件	30 頁
合計		53 件	

※寄せられたパブリックコメント 59 件中、匿名で提出のあった 6 件については回答しない。

A 建設候補地に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
1	胎内市生涯学習施設を現公民館及び旧町体育館跡地に建設することを強く要望します。 その理由 1.胎内市有地の活用となる。又周辺は空地・荒地・農地で転用しやすい。(拡張、駐車場、産業道路につなげやすい。) 2.現在の図書館、公民館の利用者数を見ると半数以上が60代以上である。周辺の人は交通機関を利用しなくても通える。 3.災害時の活用として、大いに期待できる。(上記の下線部については、同様である。) 4.中条中学校の生徒達が普段の授業・行事に利用しやすくなる。又、今後の学習意欲向上にもおおいに期待できる。(村上、新発田では活用済) 5.最大のポイントは、誰でも歩いて行けるということです。市外の方々には産業道路へのアクセス道路を整備すれば更に活用しやすくなると考えます。
3	生涯学習施設構想について、以下、コメント(要望)をさせていただく。 図書館、公民館、交流施設と多目的複合施設にすることは賛成だが、その利用のし易さ、足の運び易さは工夫が必要。特に場所(建設地)は重要なポイントと考える。 利用者の年齢層を考えたとき、車社会とはいえ、子供や高齢者にとって歩いて行ける距離感、移動時の安全性を踏まえ、立地場所を選定すべきと考える。 昨今、市街地は、大型スーパーが移転したり、今回図書館が移転することになれば、益々空洞化が進むことが懸念される。現状の図書館利用者をみると、子供連れ、中学生、高校生、シニア層と幅広いが、中学生、高校生は学校の帰り(列車通学の人も)に利用している。シニア層は歩いたり、自転車で通っている人も多い。胎内市は農業、工業などの産業がバランスよく営まれ、発展しており、働いて住める環境が整っていると認識している。 そんな中、文化的観点からみると寂しい限りであり、生涯学習施設構想がより魅力的な街づくりに寄与するものと期待している。子供達が誇れる、誰でもいつでも気軽に行ける場所であって欲しい。市役所、高校、中学校、小学校、そして医療機関(開業医も含め)から近くて、移動の動線に位置することが利用のし易さにつながると考える。 建設地としては上記考えをもとに旧町体育館現公民館あたりを推薦したい。位置が重要であってスペースとしてはコンパクトでもいい。近在のモデルでは、阿賀野市旧京ヶ瀬村の図書館のある公園(ふるさと公園)が思い浮かぶ。参考にしたらいいのではと思う。
4	生涯学習施設を嘉平山に造る計画みたいですが現在の公民館と旧体育館跡地に作ったほうが早くできると思います。市長は旧体育館の跡地に作っても大型バスが入らないと言ってるけど大型バスが入る事業が年何回おこなわれますか？まえに敬老の日には大型バスが相当の数入ってきた経緯があります。また公民館の利用者はどちらかと言うと高齢者が多く利用してます。徒歩でくる方も大勢います。嘉平山だと徒歩ではいけません。交通の手段も考慮してください。
6	嘉平山は現在更地でしょうか？ 施設を作る前に山を崩し更地にするのに費用はどのくらいかかるのでしょうか？ 土を売っても旧体育館跡地に作るほうが係る費用は少なくて済むと思いますがどうでしょうか？ 今一度ご検討ください。
7	図書館建設におもいこしをあげたようですが 建設場所なのですが なぜ 嘉平山なのかが疑問。 例えばプレスボ胎内辺に総合施設とするとか、「コメリ」が移転後の土地を交渉するとか、まずは利用者が利用しやすい場所を選択すべきでは。 新発田などは駅前に施設がある。まずは 利用者優先を。
12	建設場所を再考して欲しい。 胎内市の中心部から離れていて、多くの人が車で利用が必須になる。学生が利用しやすい場所、自転車でも通いたくなるような場所を提案して欲しい。人口減少が進む中で、施設を中心地から離れたところに新しく建てるのは施設の利用者が減ることにも繋がる。街全体をコンパクトにして、公共サービスが行き届くように、生涯学習施設だけでなく、今後の街作りもイメージして立地場所を考えるべきである。 もし、避難場所も兼ねて高い場所への建設を考えているならば、それは別に建設を考えるべきだ。生涯学習施設として、利便性の優先度は決して低くしてはいけないと思う。 建設場所については、子どもを持つ世帯から広く意見を集めて、決定して欲しい。その際はイメージしやすいように候補地を複数あげて欲しい。多額の税金を使うのだから、どうか慎重に考えて頂きたい。
14	◎関沢地内の候補地は反対です!! (理由) 町内の人達は国道7号線をこえて行かなければならず、車以外で行く子供や高れい者等にとっては危いし、利便性が非常に悪いです。 免許がある人もない人も老若男女、もっと気軽に利用できる場所でないという意味がないです。 国道7号線をこえるのは遠いです。もっと中心地に近い場所の再考をせつに望みます。 ★浜手や黒川方面の方々はどうちにしろ車利用になると思うので、国道7号線をこえる、こえないは関係ないと思います。
15	市民の公共施設の役割は、市民誰もが使い易い場所であることが最優先です。関沢地内の候補地では、旧中条地区の住民では遠すぎて、自家用車でしか行けず、子供達も自転車で行くには国道7号線を渡るには危険を伴います。又、山が近いため、熊などの獣が出やすい場所では不安があります。以上の理由で7号線より手前の場所に建設してほしいと考えます。どうかご検討ください。よろしくお願いします。 ※私としては現市役所、産業文化会館の近くにまとまって文化施設を作ったらいかがでしょうか。
21	皆さんが使い場所がいいです。私ら年よりは車がなければいけない所ではこまります(町中)
22	・5/21(水)日報で市長は嘉平山を最有力候補地と考えていると書いていたようで、5/25(日)のパブコメはどういう意味付けなのかと大変疑問視しましたが、出席議員の方々もそれについては全く知らなかったと述べていました。どういことなのでしょう、市長の個人的意向でしょうか？ パブコメの参加者は一人も嘉平山に賛成していませんでした。 ・5/25(日)パブコメに参加し、改めて市の中心部の旧中条町体育館跡地及び中央公民館に建設することを強く要望します。 理由①利用者目線として地の利の良い所、小中学生が自ら歩いて又は、自転車でも通える所(高齢者も同様)。嘉平山では子どもだけでは不便で危険も多い。(高

	齢者も同様) ②旧町体周辺は中条中学校に隣接し中学生や小学生が課外活動・授業で利用しやすくなる学習環境として最高である。中学生の生の声をぜひ聞いてほしい。旧町体跡地と嘉平山のどちらが利用しやすいのかを。 ③市内中心部に建設することにより、市内の空洞化を防止できるのではないかと思われる。市役所、病院、行政と連携もよい。 ④公民館活動にも誰でも積極的に利用しやすい。 ⑤小さい子供を安心して遊ばせることが可能である。 ⑥市民の声をもっと聴いて欲しい。一方的に情報発信のみでなく、反応をしっかりとうけとめて判断してください。 ⑦誰でも利用しやすい、生涯学習施設を考えると以上のことから旧町体跡地が最有力候補地です。空地も多く駐車場も十分です。 ⑧「嘉平山」は市の遊休地と新聞に記載がありましたが、中条町まつり等の花火をあげる場所として活用を今後も利用していけば十分であると考えます。(周囲に民家もない。) ⑨いずれにしても車社会ですが、市内中心部以外の市民の方々には、それぞれの近隣に公民館があるのではないのでしょうか？(黒川→旧黒川村役場、乙→どっこんすいの館など。) ⑩市中心部の市民の利便性をも十分に考えて、コンパクトで使い勝手の良い施設を設置してください。 ⑪巨大で大金をかける施設建設を望むのではなく、胎内市の身の丈に合った使い勝手の良い誰でも身近に感じられる、通いやすく利用しやすい施設を切望します。 以上、よろしくお願いします。
26	生涯学習施設を作ることは大賛成です。 新発田のイクネス図書館をよく利用していました。 病院の帰り（新発田 HP）自分の時間が欲しい時に利用し心がいやされました。 ただ立地場所、関沢の山の方に作る事には反対です。 誰でも利用しやすい町の中や駅の近くが良いと思います。 高齢者や子供達が利用しやすい誰でも利用しやすい所、場所をぜひお願いしたいと思います。 宜しくお願い致します。
31	基本的な考えには賛成です。 特にいろいろな世代の人が使えるようにという点に賛同します。 そのためには、場所の選定をもう一度見直していただきたいと思います。 計画に上がっている関沢は、車を運転する人には使いやすいでしょうが、運転しない世代の、小中高生や高齢者には使いやすいとはいえません。 オンデマンドタクシーの利用が計画にあげられていますが、小中高生が使うとは思えません。 いろいろな世代が使いやすいように場所の選定を今一度検討していただけますようお願いします。 元中条体育館跡地が統合中学校として候補になっていることは承知していますが、その場所での設立を希望します。
32	候補地嘉平山について ・5月25日開催の「市民と議会の意見交換会」に行ってきた。総務文教委員だったが、生涯学習施設の検討委員会のメンバーだったという方が”会としては賛同していない”と発言されてビックリ!! それでは検討委員としては賛同してもいないのに、賛同したことにして、わずか延べ80人のワークショップの開催で市民の声を聞いたと、どんどん計画を進め、候補地まで決まりかけようとしている。5月21日付の日報では、嘉平山を有力候補地のような記事が出た。これでは、市民の声を無視して（おとなしいのをいいことに）だれかの思惑に沿って強引に進めていると言われてもしょうがない。 ・万が一、災害があって、嘉平山に大勢の市民がおしかけるような事態を想定すると、国道を横切っていく車、人で大混乱が起きるのではないか。高齢者は行けません。 ・市有地、嘉平山が長い期間利用・活用されなかった理由は何か？ ・嘉平山に大規模生涯学習施設を建設することに対して、民間事業者の関心が低い原因は何か？ ・45億もの建設費をかけた大きな施設が利用・活用されないようなことになるのではないか？（長池の二の舞） ・山の中で、水害、熊被害が大変心配だ。 ・6月1日の市報に、気象防災アドバイザーの紹介があったが、嘉平山は土砂崩れの心配があるだが、大丈夫か。 ・中央公民館と図書館の老朽化による生涯学習施設の計画なので、その二つの機能を持った施設を建設すべきではないか。コンビニや子どもたちの遊び場などと拡大するから広い用地が必要になってくる。 ・街中から、公共施設がなくなるのは街中の空洞化につながってしまうことになり、困る。気軽に集まることのできる公共の場が街中にあれば、小さな集会（特に北本町総会）、発表会、趣味の会など、今公民館で行われてきたことが、継続して行うことができる。（防災面でも近くに避難場所が必要。） ・以上のことから、旧町体跡地での建設を希望する。いずれ、中学校が統合するらしいが、中条中学校を改築してそこに、図書館と公民館を併設すればいいと思う。そうすれば、子供から、大人まで、生徒は帰宅途中に気軽にやることができる。 ・「ワークショップ」「パブリックコメント」等わかりづらい用語は使わないでほしい。広く市民の声を聞こうという姿勢があるなら、わかりやすい言葉を使うべきだ。市役所と市民の隔たりを感じる。
35	公民館と図書館を一体化させて、市役所周辺に移動して欲しいと思います。 胎内市民の高齢化が進んでいるので、車での移動が必要ではないところがいいと思います。 中学校を合同にし新しくするのであれば、プレスポ周辺、又は市役所周辺がいいと思います。 今の場所は道路状況が狭く危ないので、統合する際はバスや車の便を考え広い敷地のある所へ設置して欲しいです。
36	施設の場所について ・識者が時間をかけて選定した場所について抗議はいたしません

	ただ単に、長年遊休地の市有地を利用することを目的としているなら再度お考え下さい 鳥獣害の防護、周遊バスやシャトルバスなど交通の利便性担保をお願いいたします 施設への希望 ・生涯学習の施設を鑑み利用者の作品展示備品充実をお願いします（照明、展示用フック・ワイヤー・パネルなど ・e スポーツ、カラオケルームなど市民のコミュニケーションが図られるネット環境の充実） ・図書については提携された市内外の施設との交流ネットを考えてください ・施設の維持費用の軽減に留意ください（太陽光を利用し施設の電力を賄う、芝生公園を造成するなら敷地全体でなく必要な部分だけとする、樹木の栽植は施設や胎内市のアピールには必要だが手入れに費用が掛からないものになど）
37	柴橋自治会を代表して、意見を述べます。 施設の基本構想に関しては、概ね賛同できる内容です。 建設予定地に関して、嘉平山ではなく旧柴橋小学校跡地がより望ましいと考えます。 【理由】 1. 4 世紀前半に築造され、前期古墳時代のものとしては、日本海側最北端であると言われている国の史跡である城山古墳が旧柴橋小学校のすぐ近くにある。付近には城山古墳にゆかりの住民も居住しており、生涯学習施設の核の一つとして城山古墳関連のコーナーを設けるなどの方策を取ることで、より多くの人が興味関心を持って施設を利用することが期待できる。 また、江上地内の奥山荘城館遺跡も近接しており、両者を胎内市の歴史的価値を広く発信する上での中核ととらえ、城山古墳と奥山荘城館遺跡のほぼ中間地点に位置する柴橋地域に施設を作った方がより発信の効果が大きいと考える。 2. JR 羽越線中条駅の西口の柴橋地域、西本町地域は、世帯数が増加しており、より多くの住民の利用が期待できる。宅地造成は依然として進行中で、中条駅西口周辺に居住する人口は増加するものと思われる。また、中条駅西口から旧柴橋小学校までの距離は約 1,200m とそれほど離れておらず、市街地中心部からも距離的には遠くない。平坦な土地で自転車や徒歩で行き来する人も多く、通勤通学で列車を利用する人にも利用しやすい立地条件である。 さらに、海岸寄りに位置する場所であることから、関沢地内の嘉平山よりも積雪量が少ないと見込まれ、利用者にとってはより利用しやすい環境であると言える。 3. 柴橋自治会は、長年、柴橋地域ふれあいセンターの指定管理者として長年に渡って管理運営に携わってきた。この間、郷土写真家の展示場として、また塩津潟（紫雲寺潟）の研究所として利用されてきた経緯があり、地域住民の生涯学習に関する意識が年々高揚してきている状況である。旧柴橋小学校跡地に生涯学習関連施設が立地することにより、公民館や民間団体が開催する生涯学習関連講座の実施の際のボランティアの確保や、生涯学習サークルの立ち上げ等の際も地域のマンパワーを活用しやすい情勢にあると言える。 4. 公共施設の建設に当たっては、より多くの住民にとって間近に立地することは大切な要素であると考えられる。中条駅西口の大きな行政区である西本町、柴橋、本郷町、西条町、あかね町の世帯数は、胎内市の全世帯数の約 16.6%を占めている。（令和 7 年 4 月末現在）このことから、旧柴橋小学校跡地に建設することの公共性は低くないと言える。 5. 保健福祉施設ほっと HOT・中条や胎内小学校が近隣に存在し、これらの施設との連携による事業展開も可能で、基本構想で述べられている、 ・交流人口増加による活力あるまちづくりの推進 ・誰もが気軽に立ち寄れる利用しやすい環境と場所の提供 ・子ども、子育て世代が集える環境と場所の整備 ・様々な年代の市民が集い、出会い、交流する場所の提供 ・快適で居心地が良く長時間滞在を可能とする場所の提供 ・市民まちづくり団体の活動拠点となる場所の提供と活動の支援 などの目的を達成するに適した立地であると言える。
41	今回の生涯学習施設の整備計画は、市民の学びや交流を促す素敵な構想だと思います。多世代が集まれる施設が胎内市にできることはとても意義のあることだと感じています。 ただ一方で、建設場所については慎重に再検討していただきたいと考えています。 というのも、建設予定地周辺の道路は、現在でも車の通行量が多く、T 字路では過去に事故が起きたこともある場所です。そこに新しい施設ができれば、交通の混雑や、自転車・歩行者との接触事故のリスクが高まるのではないかと心配しています。 さらに、生涯学習施設は高齢者の方々も多く利用されることが予想されます。その際、高齢ドライバーによる自家用車の利用も増えると考えられ、運転操作ミスなどによる事故の可能性も無視できません。 素敵な施設ができて、その周辺で不安を感じながら通うことになるのは本末転倒です。特に、高齢者の利用も多くなることが予想される中で、自家用車を使う高齢ドライバーが増えると、交通事故のリスクも高まる恐れがあります。安全面から見ても、もっと交通アクセスが整っていて、すでに交通量の多い場所ではないエリアへの設置を検討していただけたらと思います。
42	建設予定地としている「嘉平山」地域は、確かに屋内外の憩いスペースや広い駐車スペースを考えると適地と思えます。しかしながら、近年熊の出没頻度が増しているなかでこの地域に建設するのは疑問が残ります。施設を利用する人の安全をどのように守っていくか対策等があれば考えをお聞かせください。
44	広い駐車場で車で来場する人には便利だが、実際図書館を利用する学生や年配者は徒歩、自転車、デマンドタクシーで行かなければならない。 郊外にあるため、ちょっと本を借りるのにわざわざデマンドタクシーに乗るのも料金がかかるし、徒歩には遠いので今 1 番図書館を利用している人の足が遠いのではないかな？ また公民館で現在行っている平日の習い事に気軽に通えなくなる人がたくさんいると思う。皆んながみんな車を運転している方なら良いが、免許がない人は気軽に利用できなくなると思う。

	なので嘉平山に建設するのは反対です。
46	1 建設候補地について 幹線道路からのアクセス、駐車場の確保とありますが、確かに重要なことではあるが、現在の中央公民館の利用者で、自転車や徒歩の方がどのくらいいるのかわからないが、夜はともかく、日中はそれなりにいるのではないかと、しかもこれらの方は、高齢者と思うし、国道を越えて行くのは地下道があるとはいえ厳しいのではないかと。 また、嘉平山については、楕形断層との関係の記述がないが、果たして安全な場所と言えるのか疑問に思う。 これらのことから、建設地はウオロク旧中条店がよいのではないかと。現在は、民間事業者が借りているが、その期間は3年間と聞いている。その間に設計などの準備をすればよいのではないかと。しかも、ウオロクが移転してからは産業道路の交通量も減少しているので、アクセスも良いし、駐車場もそこそこの広さがある。 新規に土地を取得することになるが、今後の人口減少見込みなどを考慮すると、ほんと・HOT 中条の集会室も休日はあまり使用されていないようだし、産業文化会館や学校開放のあり方なども検討しながら、あった方がよいものとなればならないものを整理し、割愛できるものは割愛すれば建設費も抑えられ土地の取得費にも充てられるのではないかと。 2 嘉平山の活用方法について 計画にある交流施設機能のうち、屋外での交流スペースとし、子供たちがのびのびと走り回れる芝生の広場と東屋を数棟、あとはトイレと駐車場があればよいのではないかと。 クアハウスのある場所は、かつては芝生の広場で子供たちが走り回っていたことから、あえて遊具は必要ないのではないかと。子供たちの創造力を育てる場とするべきで、整備費については、あそこの土を売却することによってかなりの部分が賄われるのではないかと。また、飯角側は法面となるので、芝桜を植えるのもよいのではないかと。 なお、参考までに北海道帯広市の近くの十勝川温泉に広大な芝生公園(10ha 余り)があり、さすがは北海道だなと思いました。30 年以上前のことでしたが、今はどうなっているかわかりませんが、当時、遊具はフィールドアスレチックのみで、起伏のある芝生公園で感動した経験があります。
52	「学びの拠点」は旧体育館跡地することが最善と考えます 理由 1. 半山に住んでいると活断層の存在が常に気になっているその近くに造るべきではない 2.多勢の子供達利用する施設となるが案の場所は交通量の多い国道7号線を横断することになり事故のリスクも高くなることが懸念される 3.旧体育館跡地は中心部に近く小、中学校にも近い 今まで体育館、公民館として親しまれていた場所であり一番良い場所であると考えます
53	建設予定地について ホームページには4つの建設予定地が比較検討されていましたが、5つ目の候補場所として、現在ウオロクがありコメリが建設中の後ろ側の田んぼは、予定地としてどうでしょうか。 1 番の難点としては、市有地0平方メートルす。 嘉平山の予定地の3分の1くらいの面積だと思います。しかしながら、この場所は市街化区域です。そして利点として 1.国道より市街地側でアクセスが良い 2.東側が国道に面している 3.場所が分かりやすい 4.周辺に市の生活拠点となる市役所・消防署・中学校・中条高等学校などがある（コンパクトシティ） 5.市民生活のにぎわいの中にある場所なので、気軽に徒歩で行ける。もちろん車でも。 6.用水路に沿って、土手に桜が植えてあり、ベンチ・東屋もあります。近所の方は犬の散歩やジョギングなどを楽しまれています。 7.楕形山脈が見えます。 8.中条高等学校の生徒さんは、学校帰りに図書館で勉強をしている。この距離であれば徒歩で立ち寄ってもらえる。 9.嘉平山の方より熊への心配が少ないと思われる。 10.羽越水害の経験から平らな土地が好ましい。 11.嘉平山の予定地の3分の1くらいの面積ではありますが、四方から行き来ができるので、作り方によっては面白くなるのではないのでしょうか。 12.胎内市は自然がいっぱいあるので、図書館と公民館は山にこだわらず、建物内の木育的なリラックス効果が期待できる「内装の木質化」などを取り入れて、地域で誇れるものを目指す方がよいのではないのでしょうか。 この場所は市街化区域なので、お店や住宅となるのも良いのですが、地図を見て分かるように、周辺を住宅に囲まれているながら、中心部といえるような場所で、それでいてポツカリと空いているまとまった土地なのです。かつてはJOY タウンがあったように、市民が楽しめる場所として機能し、新たな知識と交流と学習の拠点をここで創出できるとしたら、今までより使い勝手が良く、老若男女みんなが楽しく集える場所となり、活気も生まれ胎内市の資産となるのではないかと考えました。
55	・図書館、公民館、多世代交流機能を併せ持つ生涯学習施設が建設されることは喜ばしいことである。 しかし、国道7号線をはさむ現候補地は、利用する小中学生や高齢者にとって、安全面で不安がある。 車で送迎するにしても、冬期間は降雪・積雪により道路状況が悪くなり、利用をためらうことも想定できる。市街地での建設を希望する。 ・「より多くの市民が、行きたい時に自由に行けるような所に」と考えるが、他に適切な候補地がどこにあるのかは分からないので、「利用者目線で建設地の検討を」と願うのみである。 ・人口減少も進み、街中の空洞化が危惧される本市において、公共施設建設は、胎内市の街づくりにかかわる課題であると思う。市の中心はどこか。どのような街にするのか。将来展望にたって、建設地とともに、胎内市の規模に見合う、コンパクトでもあっても3つの機能を取り入れた施設設計にも十分な検討を重ね、より

	よい基本設計で、建設へと進むことを期待している。
57	建設予定地の関沢は良くない。 距離的に利用しにくい。
59	生涯学習施設についてのパブリックコメントですが、もう少し先を考え胎内市 4 中学校統合の件と中条高校の持続可能性についても関連付けて考える必要があると思うものです。 生涯学習施設と中学校統合と中条高校の存続を市の将来計画として 3 つの課題を一緒に考えたいと思います。 その前提は人口減少、経済の低迷で税収の減少が予想される中、財政の健全・維持が大きな課題となっています。これらを念頭に置いて考えなければならないと思います。 これからの市政運営でもあらゆる面での事業費の抑制が大きな課題でもあると思います。新しいものを新しい場所につくる、統合したら新しい場所に新しいものをつくるとの従来の考え方では事業費の抑制にはなりません。 具体案として生涯学習施設は旧町体とし、4 中学校を統合した中学校は中条高校の校舎を利用し、かつ中条高校の持続可能性を考える必要があるとの思いです。 以上が私のパブリックコメントの主旨です。 以下詳細を記します。 ① 生涯学習施設は胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)をベースにするが場所は旧町体とします。 理由:(案)の建設予定地（嘉平山） a. ・利便性が悪い：利用者の大半が国道を横断しなければならない。 ・歩行者、自転車が 100%地下道を利用するでしょうか？ ・国道を横断による交通事故が懸念されます。 ・利便性が悪いため利用者減が考えられます。 ・天候の悪いときの行き来が大変(心配) ・図書館の利用者は生涯学習施設整備基本計画(案)の資料では 7~12 歳で約 10%、60 歳以上が約 60%と全体の約 70%を占めています。これらの人の利便性を考えれば旧町体、現中央公民館、現中条中学校の一体が適地と考えます。 b. ・利用者のためにあらたに公共交通機関（デマンドタクシー）の運行を予定されているようですがナンセンスではないでしょうか。（お金がかかる） ・公共交通機関を利用しなければならないことが利便性の悪さになりませんか。 ・公共交通機関はランニングコストがかかる。 ・タクシー、バスの運転手不足があり、ますます深刻が予想される。 c. 事業費が嵩む。 山を平地にし、かつインフラを整備することだけでも多大な投資となる。 d. 広さは十分であるが故過剰な施設・設備を造ることにならないでしょうか？ e. 旧町体とした場合道路事情が良くないとなれば産業道路からのアクセス道路の新設も検討が必要でしょう。民家の立ち退きも必要となりそうですが？ f. 下記の中学校在校者が中条高校の校舎を使うようになれば土地を広く利用できます。 ② 胎内市内中学校 4 校統合の件 a. 4 校の統合後の校舎は中条高校校舎を利用できるようにする。 b. 中条高校は一時期 1 学年 8 クラスあったと記憶していますが現在は在校生総数 150 名足らずのようです。 (一時期 1,000 名近い生徒が在籍していたようです) ゆえに、ハード面は充分と思われます。 c. 中高一貫校の検討もお願いしたい。 ・市の中学校、県の高校を一体化するにはいろいろな障害があると思われますが改革は障害を克服しなければ達成はできないと思います。 ・やるのだ!!との強い意識、姿勢があれば可能ではないのでしょうか。中条高校の持続可能性の観点からもどうしてもお願いしたい課題です。 d. 統合中学校を新たな場所に建設しない。 ・前述した人口減少、経済の低迷が予想される中での従来型思考は許されないと思います。 それは事業費かかりすぎるので、あらたな発想が必要であると思います。 ・統合した中学校が新しい場所に新設されれば現中条中学校の生徒もバス通学となるでしょう。 ・生徒数の多い学校を中心に統合を考えるべきで、全ての生徒バス通が公平とは思われない。ただ、通学という観点でみればそうかもしれないがそれだけで判断をすべきではないと思います。 ・バス通学は昨今運転手不足であり、ランニングコストもかかります。

	・バスを使うことによる諸問題の発生が考えられるのでその要因を極力少なくしなければなりません。例えば、バスの乗り遅れなどの対策は？ ・この観点からも生徒のバス通学者の数は極力少なくしなければなりません。 e. 現中学校が中条高校を利用すれば生涯学習施設の用地として広く活用できます。 ③ 中条高校の現状 最近中条高校の某イベントに参加しました。 その時私は中条高校の在生徒総数が 150 名足らずと見受けビックリしました。これから先どんなことになるだろう？ 危機感がありました。 上記しましたが中高一貫校を含め中条高校持続可能性を模索して頂きたいと思っています。 まとめ 生涯学習施設整備基本計画(案)にもありますが 「人口推計や持続可能性を考慮することで効率化を図り、可能な限りコンパクトな施設を実現し、建設・維持管理コストの圧縮を図る」とあります。 市内 4 中学校の統合、特に中条高校の存続可能性を最優先に考えて頂き、中学校は現中条高校、文化的施設は旧町体エリアとする。 上記の考え方のもと高所・大所からのご検討をお願いするものです。 以上
--	---

B 建設候補地及び概算事業費・予算に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
2	今回の基本計画案作成までに段階的に検討を重ねられ、纏められたことに深く敬意を表します。複合機能もよく取り入れられたものとなっています。しかしながら下記の観点から再考すべきと考えます。 記 1.市の財政の現状とその将来的観点に欠けている 現在の図書館や公民館施設の限界状態は長年の課題だけに、複合施設を構想することは十分な背景がある。しかしその検討過程では近視眼的になり、あれもこれもと快適で便利機能を追い求める結果となったのではないか？ (1)嘉平山は最適地か ここは熊倉町政時代に購入したもので、当時その経緯は議会でも問題視されたもので、いわば負の財産だと記憶している。今回の候補地、嘉平山に建設するとなれば、土地の造成、インフラ整備など殆どゼロからのスタートであり、その建設費用がどれだけか先回の説明会の資料には入っていなかった。（今回の資料で初めて記載） (2)市政はあくまで財政規模（実態）と将来予測を兼ね備えた観点から行われていくことが重要で、市（執行側）と市議会（議員）双方のチェック＆バランスが後々まで問われる。 2.建設地の提案 現在の公民館と旧体育館跡地を主体とし、その周辺の土地を購入して複合施設を建設する。このためには建物を高層化し、機能については再検討して絞り込む。また産業文化会館2Fの各部屋も活用する。 当市においても高齢化はますます進行し、その人たちの趣味、生きがいを感じさせるための施設は市街地の中心部が便利。複合施設であればこそ、交通手段的に厳しい場所は避けるべきである。しかし基本計画（案）では候補地（嘉平山）への交通手段はデマンドバスや自家用を主体としている。ここで問題となるのは公民館活動ではないか。現在でも各種団体の（集会、趣味活動など）の利用が多い。しかも休日やウィークデイを問わず、日中、夕夜間も利用している。これらのことを考えれば候補地の嘉平山は高齢者にとって季節条件的（冬季など）にも著しい制約となる。 3.予想建設費の対比が必要 以上のことを前提に、上記提案についても予想建設費を算定して双方を広く市民へ公表すべきである。現在の国と各自治体の財政は再建どころか、国債、市町村債漬けといっても過言ではない。再三言及するが、高齢化や人口減少によるさまざまな問題、たとえば経済的格差の拡大による弱者や福祉には喫緊的な対応が必要となる。従って将来的課題を見据えた政策の優先順位付けがもっとも重要である。 以上、総合的な観点から候補地を再考すべきと考える。
27	生涯学習センター計画について（嘉平山について） 市民が喜び利用の立地は、小中学校の生徒が学校の下校時に気軽に立ち寄れる場所で学校のすぐ隣の隣接地が絶対です。 フリースペースで勉強ができ、友達とも交流が出来る場であること、大人はフリーワーキングが出来るスペース、更にPC環境が整っていることです。更に高齢者が気軽に歩いて来れる所が要です。 この様なことをよく考えて計画を立てて欲しいです。 現在計画地の嘉平山候補地の建設は絶対反対です、どう考えても最悪の場所です、国道をまたぐリスクがあります。もっともっと市民の声を聞いて頂きたい。 それに計画の45億の計画も60%位に下げてください。胎内市の人口も2040年の国の予想では2万2千人の人口が予想されます、嘉平山の建築をするとその他のインフラ（道路、下水道、電気等）に数億円のコストが予想されます。 【45億の工事費を人口2万2千人で割ると一人当たりいくらになるか計算してください】 市民の生涯学習センターは前向きですが嘉平山の建築は99パーセント人が反対しています。 決定したかの報道が出ていますが早めに報道訂正を行なってください。

C 建設候補地及びこれまでの事業推進の経緯に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
10	1.候補地から現公民館・旧町体育館の跡地がはずれた経緯が不明です。 2.有力候補地が嘉平山と伺いましたがなぜ市内から国道7号線を越えていく、徒歩圏外とするのか疑問です。 3.中条中学校の脇に中学生も校舎の一部として利用できる情報センター及び図書館を設置すれば学習効果・情操教育としても絶大と考えます。 4.高齢化率の高い地域で健康な足腰を維持し、公民館活動に今後も参加する為にも公共交通機関を頼らずに自ら歩いて行ける生涯学習センターは、人生の友として活用できると考えます。 以上の点からも現公民館・町体の跡地を推めます。 他、災害時の避難所としても市中心部の人々は移動がしやすい。いつどこで何が起きるかわからない時代です。市内中心部の人は容易に山へは行けないと思います。

D 建設候補地及び意見聴取の必要性に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
18	生涯学習施設を嘉平山に作るのに反対です。 市民の意見を聞いて下さい。私達は、生涯学習の場、拠点を失う事になります。公民館でバッチワークの教室をやっております。平均年齢は 75 才以上で、施設が出来ると 5 年後は車に乗っていないかもしれません。歩いて嘉平山には行けません。市内の中心地中央公民館、旧町体の場所、駅の近くなど町内にコンパクトに経費をかけないで作っていただくようお願いします。 図書館も本借りに嘉平山までは行けません。楽しみだった読書もあきらめる以外ありません。 町には空家が目立ち、人口減少がすごいです。 莫大な税金を使って作る必要があるのでしょうか。 柴橋小学校など今ある施設の活用など、高齢者にやさしい胎内市であってほしいです。 たくさんの市民の意見を聞いて下さる事をお願いします。
54	1.複合型生涯学習施設の必要性については全く異議はありません。多くの市民も同じだと思います。 2.私を含め市民の関心は「どこにつくるのか？」にあるのではないのでしょうか。 3.建設候補地とされている嘉平山についてはいくつかの理由で反対です。 4.利用者の交通手段が自家用車中心になると考えられていますが、高齢化が進み運転免許返上者＝交通弱者が増えるのは必至です。公共交通機関がない環境で、誰もが利用しやすい交通手段やインフラをどのように確保するのでしょうか。 5.町の中心部は空き家、空地が増え空洞化が進んでいます。町の賑わい作りもこれからの大きな課題ですが、人の流れを外に振ることは空洞化に拍車をかけるのではないのでしょうか。 6.すべての市民な公正な生涯学習サービスを提供するのであれば、誰もが気軽に利用可能な利便性を第 1 とすべきです。 7.その点で、中央公民館を含めた中条中学校周辺は道路整備を実施することにより有力な候補地になると考えます。 また道路整備は周辺地区の交通インフラの改善にもつながり住みやすい町づくりにも寄与するものと考えます。 8.中条中学校周辺は将来の統合中学校の有力候補地とされているようですが、統合となれば通学手段もスクールバスや自転車利用が中心になると思われます。であれば嘉平山周辺の豊かな自然に囲まれた広大な環境こそ、統合中学校にふさわしいと考えます。 9.市民参加型ワークショップが開かれたのは令和元年で 6 年経過した今、もう一度広範な市民の声を聴くべきです。 10.建設地が決まったわけでないといいつつも、嘉平山ありきなような決め方には賛同できません。 以上

E 建設候補地及び施設内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
25	生涯学習施設の計画は大変良いと思います。 しかし場所が嘉平山とのことですが、大多数の市民が車で利用になると思います。 自転車や、歩きで、子供から高齢者まで日常的に気楽に行けて利用できる場所を希望します。 又、市内中心に公園がなく子供達が遊べる所も作ってほしいと思います。
30	・多目的施設として、大変贅沢な内容だと思うが、人口減少が進む傾向の中、建設にそれだけの財政力があるのか、その上、維持管理も負担にならないのか心配。 ・生涯学習センターとして、公民館施設にウェイトをおくべきではないか、しかも全てバリアフリー、エレベーター設置。 活動内容に合わせて、大、中、小のホールを複数そなえ、活動内容に必要な設備そなえる。 カフェなどあってもよいが、子供の遊び場は不用。 既存の施設遊園地などの内容を充実させる。例えば保護者がついていなくても安心して遊ばせられるように、人員を配置する。(放課後活動の場) むしろ、図書館は縮小する。(ますます進む電子化に備える) いずれにしても建設場所は、大型商業施設や学校の近くがふさわしい。(利用者の利便上)
33	1.関沢地内には反対です。広大な面積があり、自由な構想実現には適していると思いますが、 ①私のように高令者が利用するには不便。(徒歩、自転車では無理、国道をわたるには地下道) ②旧町体育館、現公民館の所が、町の中心地で活用・利用し易い。町場の活性化がはかれる。 2.施設には 150～200 名は収容できる。上映できる会場が欲しい。 3.交通弱者を締め出さないで下さい。
45	資料を読ませていただきました。これまでの話し合いお疲れ様でした。広い駐車スペースを確保できるという利点があるのは、今候補地に挙がっている関沢の市有地だと思います。ただ老朽化した中央公民館と図書館を統合して多世代が交流できるか疑問があります。若い世代や子育て世代は魅力的だと思います。 ただ、車のない高齢者は不都合な点があり(近隣住民を除いた)手だてを講じる必要があると考えます。のれんす号送迎サービス、そして駅からのシャトルバス・・・こうしたアクセスの整備が必要になってくると思います。 私は今の場所にそれぞれ建てかえ、エレベーターを設置しバリアフリー化して、できるだけ理想に近い形にしていただけるとありがたいです。確かに駐車スペースがネックになりますが。もう計画が進んでいるような気がしてあいまいな意見になりましたことをお許してください。 ・地下道を整備し、女の子たちが自転車で安全に通れるようにして下さい。 ・新しい市報を読み安心しました。 よろしく願います。
47	先月の 5 月 27 日(火)に行われた「まちづくり協働座談会」にお声がけいただき、新しい生涯学習施設について意見交換の場に参加させていただいた事をきっかけに、パブリックコメントもお送りしてみようと思いました。 ・まず、HP から「胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)」を拝見したところ、基本計画が出始めた背景と目的に「老朽化が進んだ中央公民館と図書館の機能を複合的に備えた新しい生涯学習施設の整備」という記載があったことに目が留まりました。 5 月 27 日の座談会では、新しい生涯学習施設は「『つなぎ・育む』 情報・文化・交流の拠点として、複合的な施設」にするというコンセプトが決まっているだけで、「図書館」といったような何の機能を取り入れるかは具体的にはまだ決まっていない、という説明だったと思います。 しかし、基本計画が立ち上がった時点で「図書館」と「中央公民館」の機能は新しい施設に入れようという考えがあったのであれば、座談会の時点でも最低限この 2 つの施設の機能を持たせることは決まっている、もしくはほぼ確定、という説明でよかったのではないかと思います。 複合的な施設にするというコンセプトは理解できますが、具体的に何の機能を取り入れるかを数年前から絞り込めておらず、先に建設候補地選定の話が進み始めてしまい、どっちつかずのモヤっとした大枠だけが何年も右往左往している印象を持ちました。 何かしらの事情があって建設地を先に決めなければならない、という理由があるのなら仕方ないですが、本来優先的に決めなければならないのは、どんな機能を持ち合わせた複合施設を目指すのかを、より具体的に絞り込むことではないかと思いました。 ・「基本計画(案)」のなかで「2 施設の諸室・機能構成」が出てきますが、P.14 にある 4.共有部に、ぜひ軽食の売店も入れて欲しいと思いました。長時間の利用になった場合、食事をとるためにわざわざ車で外出するのは不便だと思います。(特に乳児・幼児などの小さな子ども連れの場合は移動するだけでも大変です)あわせて、欲を言えば道の駅のような地場産品・特産品も販売されていると便利だと思います。リップルは閉鎖してしまったし、道の駅たいないは市の中心部から距離が離れていて利用しにくいです。市外の知人に地場産品を手土産として購入したいとき、もっと身近に買える場所が欲しいです。 また、新しい複合施設ができれば市外の人も訪れる機会が増えると予想されるので、市の地場産品をアピールする良い場所になると思います。 ・「基本計画(案)」の「2 施設の諸室・機能構成」にある P.14 の 5.その他で、「屋外子どもの広場」と「イベント等が開催できる広場スペース」の案が出ていますが、どちらともぜひ屋根を付けた全天候型にしてほしいです。せっかく準備したイベントが天候不良で実施できなくなるのは、開催する側にとっても、楽しみにしていた来場者側にとっても、デメリットしかありません。また屋外子どもの広場も、既存の樽ヶ橋遊園が全天候型ではないため、悪天候の日は市外の遊び場を利用するしかなく、今までとても残念な思いをし続けているので、ぜひ屋根付きの広場を検討していただきたいです。 ・座談会で配られた候補地の比較表で、嘉平山にいろいろな条件の○がついていますが、最近ぶれすぼ胎内の周辺にコンビニが新設されたり、高速道路の IC が出来たりしたこともあり、ぶれすぼ近隣の利便性があがっていると感じます。市有地は 3,000 平米しかないと記載されていましたが、工業団地の空いている敷地(県有地かもしれませんが)は利用できないのかと思いました。

	ぶれすぽや陸上競技場で子どもが習い事をしていると、その送迎をするために保護者が車でぶれすぽまで来て、習い事が終わるまでの間の時間をどう過ごして待っているか考えなければならない場面も多く、もし複合施設がぶれすぽ近隣に出来たら、こういった時に便利だと思います。
50	生涯学習施設整備基本計画（案）及び広報6月13日分を読みました。 現在月5～6回サークル等で公民館を利用しています。一番は家から近いということで休まず利用しています。多世代が利用交流する施設として子ども達が喜び高齢者が利用したいという施設であってほしい。今、利用している人の中には90代、80代の人が多く、徒歩や自転車の人も多くいます。 ①建設の場所について・・・現在の場所より遠くなく市内中心地がベストである。 ②利用について・・・現在の部屋数でも不便は感じない。バリアフリー、エレベーターなども必要である。 ③その他・・・早く建設する場所を決定してほしい。胎内市に田、畑、空き地、探せばあると思う。
51	意見・要望を簡潔に記載致しました。尚、普段考えておりましたこと、意見・要望に至る背景につきましてまとめたものを参考資料として添付致しましたので、ご確認やらご検討を賜りますよう宜しく願いを申し上げます。 意見・要望 ・愛される生涯学習施設 ・日本の伝統文化である木造建築を十分に取り入れ、平屋建ての1フロア ・緑化環境に恵まれた生涯学習施設 ・将来を見据えた温暖化対策や省エネ対応が十分に図られること ・図書館業務:機能の充実 ・県内の先進地を参考 ・30年、50年先を見据えた生涯学習施設の展望 ・小ホールの設置 ・施設名称は胎内市立図書館 ・建設予定地は中央公民館、旧町体の場所を希望 添付資料 胎内市生涯学習施設基本計画(案)に対するパブリックコメントについて 最初に、当市におきまして現在の胎内市図書館は本基本計画の中でも記されておりますように、昭和39年の新潟地震や東京オリンピック開催以前の昭和33年に中条町役場として建設された経緯を伺っておりました。新潟地震に耐えた建物としての認識にも思いが至ります。個人的には街中に市民が気軽に利用できる施設として利便性は高く、イチヨウやメタセコイアの大樹は図書館の施設環境の調和を図ってくれて、新緑の頃、窓越しに通り抜ける緑の風は心地よく感じてきたところです。まだ、生涯学習施設基本計画(案)について、十分理解はできておりませんが、せっかくの機会、意見や要望をまとめさせて戴きました。 以下はパブリックコメントの記載内容を補足し、意見・要望に至った背景等につきまして、まとめたものとなります。参考資料として添付させて戴きました。こちらの方もどうかご確認やら、ご検討を賜りますようお願い致します。 (1) パブリックコメント、意見・要望の背景 愛される生涯学習施設: 小さなお子様から高齢者の皆様まで、静音で落ち着いた環境下に楽しく、有意義で充実した施設として利用され、市民から愛される生涯学習施設を目指してほしいと願います。紙文化の衰退が取り沙汰される昨今ですが、生涯学習施設の図書館機能は今後もその中心的役割を果たしていくものと認識致します。 日本の伝統文化である木造建築を十分に取り入れ、平屋建ての1フロア: 日本の伝統文化である木造建築、木のぬくもりはここを落ち着かせ、精神的な活動を支えてくれるものです。生涯学習施設の建造物は可能な限り木造建築を取り入れ、図書の書架や内部の学習施設も良質な木材をふんだんに使って戴きたいと希望致します。また、施設は利用しやすい平屋建ての1フロアとします。1フロアの良さ(書籍の分類、閲覧のしやすさ、施設全体のわかり易さ)は県立図書館をはじめ、村上市、聖籠町の施設にて実感して参りました。 緑化環境に恵まれた生涯学習施設: 施設周辺は緑化環境を十分に取り入れて整備し、生涯学習施設は落ち着いた周辺環境に恵まれるよう十分な配慮をしてほしいと希望致します。胎内市美術館、胎内市 黒川郷土伝習館は大変恵まれた自然環境下の基に創設された施設として、胎内市の公共施設の中でも 好例なケースと存じます。こうした恵まれた緑化環境や地理的立地条件の調和が図られている好例をあらたな生涯学習施設におきましても反映されていきますようお願いするものです。 施設は将来を見据えた温暖化対策や省エネ対応が十分に図られること: 今後、地球規模の温暖化現象は益々厳しさを増していくことが予想されています。省エネを取り入れた空調設備の充実を図って戴くと共に、前項の恵まれた緑化環境の整備は夏場の厳しい気象条件の緩和に寄与します。緑化環境の整備は優れた温暖化対策だと思います。 図書館業務・機能の充実: 既に県立図書館では、音楽CD、DVDの貸出し業務を行い定着しておりますが、この度の生涯学習施設の整備を機会に本市の図書館業務におきましても音楽CDやDVDの貸出しを始めて戴きたいと希望致します。例えば、CDにつきましては小学校、中学校の音楽教育に教材として馴染みの深いクラシック音楽、楽器演奏習得を目的とするもの、文化・文芸に著名な方々の講演を収録されたもの、また、DVDにつきましては映画の名作をはじめ、教育、趣味、文化活動に人生を有意に、生きがいづくりに役立てられるものを対象として充実を図って戴きたいと願うものです。 胎内市図書館では、県立図書館に足を運ばなくとも県立図書館所蔵の書籍等を胎内市図書館の窓口にて申請により、貸出し・返却可能となっている訳ですが、今後とも図書館業務・機能の充実、他館との連携 推進を宜しく願い致します。

	県内の先進地を参考：建設計画の具体化・実施を前に、近隣の先進地、村上市立中央図書館や聖籠町立図書館、県立図書館の施設の良さを十分参考にしてほしいと希望致します。 30 年、50 年先を見据えた生涯学習施設の展望：少子高齢化、人口減少、紙文化の衰退と生涯学習施設を取り巻く、将来の展望は容易に描くことが難しくなっており、過剰設備とならないよう、また、既存の公共施設によって活かされるところは活かすことが大切になっていくと思います。新たな生涯学習施設の建設には将来の人口動向を見据えた配慮、絞り込みも必要と考えます。 本基本計画 1 頁に胎内市の人口の推移記載がございますが、国立人口問題研究所の推計によりますと、40 年後の 2065 年には胎内市の人口推計は 14,310 人となっております。公共施設のあり方について、 慎重な検証・検討が必要なことに共感致します。 黒川郷土伝習館は市民の調理実習などの活動を支援する場を提供することにも有効と思います。更なる支援充実を図る取り組みが望まれると存じます。また、長池の旧農産物直販所の施設は音楽活動を支援する場としても有効に活用できる可能性を持っているのではないのでしょうか。既存の公共施設の有効利用、将来を見据え、柔軟な対応・発想が求められているように存じます。 小ホールを設置：生涯学習施設に主に講演会、研修会、各種集会・会合を目的とする小ホール(収容人数:120 人程度)は予算的にも実現可能であれば、あってよいと判断致します。人口減少、少子高齢化が 進んでいく中にあるても有効に活用されていくことが見込まれると存じます。 生涯学習施設名称は胎内市立図書館：生涯学習設備・機能を盛り込んだ施設の名称は「胎内市立図書館」とします。 生涯学習施設建設予定地は中央公民館、旧町体の場所を希望：簡潔に建設予定地の希望評価を以下に記します。 <table><thead><tr><th>建設予定地候補</th><th>希望評価</th></tr></thead><tbody><tr><td>交通の便が良くわかりやすい場所</td><td>○</td></tr><tr><td>市内の中心地</td><td>△</td></tr><tr><td>駅の近く</td><td>×</td></tr><tr><td>中央公民館、旧町体の場所</td><td>○</td></tr><tr><td>市役所、プレスポ、公園、学校の近く</td><td>△</td></tr><tr><td>図書館と集会スペースは駅近く、公民館とスポーツ施設は広いところ</td><td>△～×</td></tr></tbody></table> 尚、嘉平山の候補地につきましては△、個人的には黒川支所、黒川地区公民館の近くを考えなくもないのですが、中条地区の皆さんからはちょっと遠く、果たして、広く賛同を得られるものかと思っております。 参考として インターネット検索にて「市民参加の図書館づくり」をテーマとする全国各地の事例について確認することができます。生涯学習施設(複合施設)はやはり図書館が主人公、誰もが訪れたいくなるような魅力ある図書館づくりを目指してほしい。私はそのための要件の一つが郷土の歴史文化が大切にされた図書館と思った次第です。 以下に参考資料として新潟日報サービスセンター発行「好きです新潟ふれっぶ」 2016 年 9 月号の 小冊子より抜粋したものを盛り込みました。 佐渡市の畑野鳥越文庫は写真・資料からも好印象の図書館として伝わってきます。木を生かした館内、 書棚、床のフローリング、天井も高くなく、省エネ設計が生かされていると感じます。また、緑豊かな景色を取り 入れた屋内環境がとても素晴らしいと思います。県立図書館も素晴らしい環境下に知的活動を進めることが出来ますが、その良さを十分に取り入れて戴きたいと願っております。 前頁の写真は県立図書館や胎内市役所・産業文化会館、黒崎市民会館(黒崎地区公民館)の駐車場 ですが、本市の取り組みにおきましても、駐車場内に緑地帯を設けることにより駐車場における車同士の接触事故などのリスク軽減、気象条件の緩和や景観の保持など、多方面にその役割を果たしてきているとあらためて受け止めているところです。 2022 年 9 月、イベントの参加で黒崎市民会館を訪れた際、駐車場の緑化形態が本当に素晴らしいと感銘しました。一定サイズのレンガブロックを敷いて、その間隙に芝生が植えられていました。こうした形態をとることで夏場の熱射による照り返しを和らげる効果をねらったものと推察されました。本基本計画における駐車場の整備におきまして、本市のこれまでの取り組みはもとより、黒崎市民会館のような取り組みにつきましてもご検討戴ければ幸いです。 結びに 生涯学習設備基本計画より p6:「中央公民館の課題」におきまして、調理実習室、音楽室、美術工芸室に関する整備につきましては、 既存の公共施設の活用を優先して検討・具体化されることを希望致します。 p8、p9:「コンセプトのイメージ」 学びの場の提供、気軽に訪れることが出来る施設、利用しやすい魅力 ある交流施設、生涯学習、知と情報、交流の拠点の記載内容に賛同致します。	建設予定地候補	希望評価	交通の便が良くわかりやすい場所	○	市内の中心地	△	駅の近く	×	中央公民館、旧町体の場所	○	市役所、プレスポ、公園、学校の近く	△	図書館と集会スペースは駅近く、公民館とスポーツ施設は広いところ	△～×
建設予定地候補	希望評価														
交通の便が良くわかりやすい場所	○														
市内の中心地	△														
駅の近く	×														
中央公民館、旧町体の場所	○														
市役所、プレスポ、公園、学校の近く	△														
図書館と集会スペースは駅近く、公民館とスポーツ施設は広いところ	△～×														

	p11:「人口推計や持続可能性を考慮することで効率化を図り、可能な限りコンパクトな施設を実現し、建設コスト、維持管理コストの圧縮を図ります。」賛同致しますが、ゆとり空間の確保、施設周辺の緑化環境の整備、施設全体の調和を図られことを宜しくお願い致します。 生涯学習の支援と推進、市民の教養・文化意識の高揚、次世代の人材育成、シニア世代や高齢者の生きがい作りとしての拠点の役割を果たしていくことなど、行政上、街づくりの根幹を成すもので、公民館や図書館等の生涯学習施設はそれぞれの市町村の文化度を表していると思います。恐れ入りますが、胎内市は県内の市町村において、整備の立ち遅れは否めないと感じておりました。 生涯学習施設や文化施設は人口減少や高齢化により利用減少が推察される中に、今後の展望を推し図ることは簡単なことではないと考えます。新設を予定したい生涯学習施設から市民が新たな可能性を育み、地域の発展と豊かな暮らしにつながることを願い、利用しやすく、市民に愛される生涯学習施設として整備し、充実を図って戴きたいと願うものです。																
58	1.ロケーションについて 当初、3地域が候補になっていたが、嘉平山は以下の点でベストの選択である。 (1)中条駅から近い、(2)面積が広い、(3)適度な高さである、(4) 国道に隣接している。 ただ、市の計画の概略を見ると、関沢よりになっており、比較的平地が多い飯角側が除外されている。後述するように、将来の発展性を考慮したものなら理解できるが、下記エリアは凹凸が多いので、もし平地にするのならコストがかかるのではないか。平地にしない場合は施設が利用しづらくなるのではないか。 2. アクセスについて 関沢口はほぼ決まりだろうが、国道からのアクセスと飯角地区からのアクセスが必須である。とりわけ、飯角川と船戸川が合流している飯角は、避難場所として市が指定している中条小学校やぶれすぼ体育館には行けなくなる可能性がある。2022 年 8 月の豪雨では、越水寸前まで水位が上昇した。したがって、現在、関沢に行く道路なく、半山方向も冠水することから、上記の河川の上方に居住している 1~6 班(全 9 班ある)の飯角住民は事実上孤立することになる。そのため、当該地域から近い飯角公会堂近くからのアクセス道路が絶対必要である。 下表は、国土地理院 HP で調べた飯角以外の地域の標高であるが、中条小学校は飯角の最低地と同等、ぶれすぼ胎内体育館は飯角より低いので、豪雨の場合、移動は難しい。飯角公会堂は 33m だが、直前の嘉平山が 35.8m なので、約 3m 高低差になり、勾配を緩やかに設定すればアクセスはさほど困難ではない。 <table><tr><td>(1)嘉平山(関沢入口)19m</td><td>(9) 水澤化学工業入口前 16.2m</td></tr><tr><td>(2)嘉平山(国道 7 号入口)20.4m</td><td>(10)中条中央病院前 15.6m</td></tr><tr><td>(3)嘉平山(最高地点) 40.4m</td><td>(11)長橋公会堂前 12m</td></tr><tr><td>(4) スーパーひらせい前 24.5m</td><td>(12) 道の駅加治川 6.6m</td></tr><tr><td>(5)中条小屋内運動場前 21.6m</td><td>(13)日本海東北道(中条)入口 5.7m</td></tr><tr><td>(6) ぶれすぼ胎内体育館前 16.9m</td><td>(14)乙宝寺前 4.7m</td></tr><tr><td>(7)胎内市役所前道路 25.9m</td><td>(15)国道 7 号 黒川十字路 55m</td></tr><tr><td>(8) JR 中条駅前 17.9m</td><td>(16)楢形山(山頂) 568m</td></tr></table> かくして、上表から推定すれば、飯角からの当該施設へのアクセスは比較的楽に行けるだろう。関沢口は道路が長い分スロープは緩やかだが、距離がある。 3.シェルター施設として 市の計画によると、防・減災目的にも供するとある。飯角町内会は 2020 年 2 月 10 日に市長宛に、2022 年 7 月 26 日に当時の県会議員富樫一成氏に「嘉平山の健康・防災公園化他についての要望書」を提出している。生涯学習施設の建設は大歓迎だが、前項で示唆したように、災害時の避難場所としての機能は飯角や 関沢他の地域の住民にも必須である。その場合、最低限の避難場機能、休息所やトイレはもちろん、シャワーもほしい。 4.駐車場について 市の計画によれば、約 250 台分確保するとあるが、十分とはいえない、通常はきちんとラインを引き、車止めブロックのあるタイプのものを想定するが、避難所やイベントの用途を考慮するとシンプルなラインだけでよいと思う。また、比較的大規模のイベント開催のために、たとえば、本年 4 月の五十公野公園ももクロライブのように、競技場がなくてもそれに代替できる広大な平面地を確保してほしい。 5.イベント用地として 前項で示唆したように、ライブや祭り、発表会等の会場としての機能を持たせてほしい。施設内に 100 名～のホールは設置されるようだが、前述のももクロのようなイベントを開催できるキャパシティの会場は胎内市にはない。胎内市は他の市町村と比較して文化・芸術活動が低調であるとの声をよく聞くが、その理由の一つとして、施設の設計の拙さがある。体育館はあるが、遠く、観客席がない。陸上競技場はあるがアクセスが悪く、老朽化している、トイレも劣悪である。産業文化会館はキャパシティが小さく、使い勝手が悪い。たとえば、搬入口の高さがあり得ない高さである。716 席の会場にふさわしい規模の緒機材は 2～4 トン車レベルである。しかし、当該施設の搬入口の高さは大型車レベルである。ちなみに 10 年前に建設された埼玉県川越市の「ウエスタ川越」は 1,700 席だが、2 トン車レベルの搬入口の高さである。しかも駅に隣接した施設であるにも関わらず、地下駐車場は 204 台分ある。区長会程度の集まりで、市役所を含めて、駐車場が満杯になる。時代とはいえ、駐車場のない旧中条体育館やアクセスを考えていないホテル、今は民間企業の手に渡ったが、イリノイ大学は講堂行きのエレベーターがない。体育館もシャワー室がない等、もう少し知恵を出せば、利用度が格段に上がるのだが、今回は同じ轍を踏まないでほしい。とにかく面積は十分なのだから、利用可能性と将来性を考えてほしい。 6.施設について	(1)嘉平山(関沢入口)19m	(9) 水澤化学工業入口前 16.2m	(2)嘉平山(国道 7 号入口)20.4m	(10)中条中央病院前 15.6m	(3)嘉平山(最高地点) 40.4m	(11)長橋公会堂前 12m	(4) スーパーひらせい前 24.5m	(12) 道の駅加治川 6.6m	(5)中条小屋内運動場前 21.6m	(13)日本海東北道(中条)入口 5.7m	(6) ぶれすぼ胎内体育館前 16.9m	(14)乙宝寺前 4.7m	(7)胎内市役所前道路 25.9m	(15)国道 7 号 黒川十字路 55m	(8) JR 中条駅前 17.9m	(16)楢形山(山頂) 568m
(1)嘉平山(関沢入口)19m	(9) 水澤化学工業入口前 16.2m																
(2)嘉平山(国道 7 号入口)20.4m	(10)中条中央病院前 15.6m																
(3)嘉平山(最高地点) 40.4m	(11)長橋公会堂前 12m																
(4) スーパーひらせい前 24.5m	(12) 道の駅加治川 6.6m																
(5)中条小屋内運動場前 21.6m	(13)日本海東北道(中条)入口 5.7m																
(6) ぶれすぼ胎内体育館前 16.9m	(14)乙宝寺前 4.7m																
(7)胎内市役所前道路 25.9m	(15)国道 7 号 黒川十字路 55m																
(8) JR 中条駅前 17.9m	(16)楢形山(山頂) 568m																

(1) wifi 環境 今や、通信機器は日常的な利用目的はもちろんのこと、防・減災目的にも最良の wifi システムを構築する必要がある。同時接続台数と通信速度,通信範囲を考慮してほしい。とくにイベントや被災時には同時接続数が少ない wifi はまったく使い物にならない。現在 200 台同時接続できる機種もある。また、最近「道の駅」でも無料 wifi が使えるようになっている。この種のシステムの利用も考えられるのではないか。 (2) PA PA(public address: 音響)は、必ずしも高額の設定にすることはないが、近年の音響理論にかなった最新のシステムにしてほしい。100 人～程度のキャパシティーでも、ラインアレー方式のスピーカーが有効であるし、わずかの学習時間で使えるミキサーとアンプ、プロセッサー等を準備してほしい。これにプロジェクターとスクリーンを合わせることで、低コストでもかなり質の高い映画館ができる。産業文化会館でも映画を上映しているが、サラウンド環境ではないようである。これからの映画鑑賞にはせめて 5.1 程度のサラウンドは必要だろう。 また、嘉平山は方向を選べば、野外ライブが可能である。かつて、筆者は岩船港緑地ステージでカラオケ大会の PA をやったことがあるが、海の見える広々とした会場でのイベントはなかなかのものであった。嘉平山も櫛形山脈を眺めてのライブは格別のものとなるであろう。そのために必要なのは駐車場と兼用の広場と簡易な屋外ステージ、電源だけである。(ちなみに岩船港緑地ステージには電源がなかった。) (3) 電源と生活用水他 なお、電源であるが、災害時を考えれば、緊急用システムが必要である、太陽光発電+バッテリーがあればスマホ充電用と wifi ルーター用は比較的低コストで済む。酷暑の停電時に備えて、できればエアコン用もほしい。 本施設内のイベントやライブ・コンサート用となると、室内なら 1 回路 3kVA 程度で十分であるが、屋外・野外となるとその 10 倍は必要である。また、かつての照明器具、たとえばハロゲンランプのピンスポット 1 基で 1kVA 程度の電力を消費したが、現在は LED 化され、数分の一で済む。しかし、イベント用キッチンカー他の用途もあるので、ある程度の電力は準備する必要がある。 水は飲料用の確保は当たり前だが、トイレ用生活水の確保はきわめて重要である。各地の被災後のトイレ問題から明らかなように、何としてもトイレ用水は確保しなければならない。ただ、そのための大掛かりの貯水槽の設置は必要ないだろう。幸い、嘉平山近辺にはいくつかの川があるので、エンジンポンプでくみ上げるか、嘉平山内の沼や池の水をくみ上げてもよい、ちなみに、飯角町内会は エンジンポンプで生活用水をくみ上げるようにしてある。 7.安全対策 市の「計画書」(案)に、嘉平山の問題点として「熊が出る」との文言があった。本年、市内の町うちに熊が出没して大騒ぎになったことから、もはや山(だけ)に熊が出る、といったステレオタイプの議論は意味がなくなった。とはいえ、山側のエリアは熊に限らず、サルや猪、たぬき、ヘビ等が出る頻度は高いだろう。当該施設を完全遮断・密閉状態にしないかぎり、そうした獣害リスクは避けられない、適切な対策が望まれる。 また、近年、全国的に落雷被害が多くなっている。個人的なことだが、これまで 2 度落雷によって電気機器が損傷した。直接の落雷は甚大な被害をもたらすが、直撃雷でなくても、逆流雷や誘導雷が原因で被害を受けることがある。当該施設は高台に位置する大型施設となるので、こうした面でも工夫してほしい。長年、飯角に暮らしている方の話では、落雷の場所はかなり限定されているという。当該施設が 20m 以上の構造物になるかどうかかわからないが、接地抵抗を下げ、避雷針や SPD を設置すべきだろう。 今のところ、施設の利用時間や管理方法などの情報はない。たとえば、建物施設は閉館しても駐車場は使えるとか、駐車場も含めてすべて閉めるといった使い方をするのか不明である。もし前者の場合なら、市外の者も駐車場を使う可能性がある、町内の中には、「当該施設によって町内によそ者が入ってきて不安である」と懸念する者もいる、施設運営計画に入れておいてほしいポイントである。 8.利用期間・時間 低い山とはいえ、どのアクセス・ルートも坂になる。いうまでもないことだが、冬期間の路面凍結や圧雪による事故は最小限になるように配慮してほしい。また、関沢口も飯角口も十分な幅員を持つ道路にしてほしい。 (健康)公園やシェルターとしての機能を考慮するとすると 24 時間、公園内を通行できることが前提になる。2022 年 8 月の豪雨では、歩行困難の隣家の住人がクルマで夜中に中条小学校に避難しようとしたが、結局避難できず帰宅した、災害はいつ起きるかわからないし、身体の不自由な者は階段さえ上がれない、自らがそうしたカテゴリーの人になったつもりで、施設を設計してほしい。いずれにしろ、飯角地区の住民は、嘉平山公園とその中の建物が最良の避難場所になる。 9.名称 普通に考えれば「胎内市生涯学習センター」になるのかもしれないが、われわれのような市外に勤める多くの者が市名に違和感を持っている。外部の方たちからこの面妖な市名を指摘されているからである。サブ・タイトルや愛称でよいから、今後市の施設にはなるべく「胎内」 はつけないでほしい。Lifelong learning(生涯学習)を基にすれば「L.ラーニング」や単に「ラーニング・ センター」、あるいは公民館(community center)、図書館(library),L・C 会館、図書館を現代風にメディア (media)と表現すれば、MC 会館、MC センター (media and community center)と省略形できる表現を考えた方がよい。 胎内市生涯学習センターを「タイショウ」や「ショウガイ」、「タイショウ ガク」と言い換えるのは奇異な印象がする。地名を優先させるのなら単純に「関沢館」や「飯関館」もあるが、当地に因縁のある「板額御前」 を援用する方法もある。ちなみに「板額」を読み替えたのが飯角であるといった記述もある。まず公園名を決めてほしい。 10.サービス内容 市民大学や公開講座等、さまざまなサービスが考えられるが、近年、政府が推し進めている "recurrent"や "reskilling" を冠した教育が本施設の目的にマッチしているかどうかはわからない。ただ、学校教育は大学院といえども、社会人として禄を食むための準備機関である。このように考えると、われわれは仕事のため、スキル・アップのため、教養を高めるためにずっと勉強し続けている。これを学校教育と分離してリカレント教育やリスクリングなどと強調するのは不自然である。「人はこの世に生を受けてから、ずっと学び、鍛え続ける」のである。子どもから高齢者までの知的アクセス・ポイントとして、本メディア施設が機能する。 市民が自由に当該施設を利用するのはもちろんだが、今後はもう少しアドバンスして、経済学でいうところのシグナリングの目的の施設にしてはどうか。たとえ
--

	ば、市民大学や教養講座を開設するなら、受講者にたいして単位認定し、修了証に類するディグリーを授与する。大学のように 124 単位=卒業にする必要はない。「PC & Net 講座」や「環境と経済」、「現代の政治」、「現代の経済」、「現代の法律」、「地域経済」、「マスコミ・リテラシー」、「FP(Financial Planning)」,「現 代健康講座」,「映画」,「文学」,「音楽」,「美術」,「英会話」等、いくらでも講座名が浮かぶが、要は単講座単位にすることである。 これからの公民館と図書館は建物・施設の機能だけでは物足りない、行政が確たる目的を持って積極的にプログラムを立案すべきである。 11.施設 図書、ビデオ 図書館なので、書籍や資料をストックしておくのは当然のことであるが、近年、大学も集積の限界から、図書の購入や研究雑誌の交換を制限しているところもある。国立国会図書館のように、あらゆる書籍・資料を納本させているところは別だが、市町村レベルの図書館は、一定のフォーマットで図書・資料を収集しなければならない。市民のリクエストによるものもあるだろうが、今後はコスト削減目的からも、市民からの献本を制度化したらどうだろうか。また、図書館として特徴を持たせるなら、ある領域に特化(eg.漫画)するのもよいだろう。「あの市の図書館にいけば、(この分野は)何でもある」と。 これまでビデオのストックが皆無だったと知り少し驚いたが、今後この分野のメディアも重視しなければならない。著作権の問題もあるが、市民が低コストで利用できる方法を考えてほしい。 12.備品 ロイヤル胎内パーク・ホテルには、スタインウェイ&サンズの最上級モデル D -274 がある。ネットで検索すると、37,829,000 円(税込)と出てくるが、中古でも相当高額モデルである。これをホテルからレンタルできないだろうか。あのホテルより当該施設はアクセスが良い。本市の貴重な財産とみなせば、許可して戴けるのではないか。 13.周辺地域の整備 飯角公会堂前の道路とそれと交差して山に向かう道路は、8,28 水害後の移転に伴って以降整備されていないため、きわめて狭隘で、近年は重量除雪車の走行、およびここ数年の豪雨による道路内部の土石の流失により、かなり傷んでいる。今から宅地を使つての拡幅はできないかもしれないが、側溝(これも豪雨時にはすぐにキャパシティー・オーバーになる)の整備等により、見かけ上の拡幅は可能である。関沢側の道路はかなり整備されており、当該施設へのアクセスは容易で安全だが、飯角は住宅地を通り抜けていかなければならず、クルマの運転も難しく安全ではない。とくに冬季は飯角川にかかる橋(諸橋建築様前)は凍結することが多く、不慣れな者の運転は危険である。しかし、避難所として施設を利用するとなると、どうしても川から山側に居住する者は、飯角公会堂前の道路から登って行くしかない。 以上、現在要点思われる点についてコメントしましたが、将来近隣住民にたいする説明会が開催されるようなことがありましたら、また意見を集約しておきます。
--	--

F 建設候補地、概算事業費・予算及び施設内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
34	先日（5/25）公聴会に参加し、意見を伝える機会があったが、改めて意見を述べたい。 建設の目的は概ね理解できたが、機能、場所、予算について再検討すべきと思う。 （新潟日報の掲載記事に関連して） 1. 機能については、図書館、公民館は老朽化しており建て替えは必要と考える。子供の交遊施設については一考の余地あり。 2. 場所については、嘉平山は利用者、特に中高生、シニア世代にとって遠すぎ。防犯上も問題。 歩いたり、自転車で気軽に行ける距離感であって欲しい。冬場は尚更、国道を跨いでの移動は困難さを伴うので、市街地にすべきと考える。旧町体、現公民館、中条中の脇あたりがいいのでは。 市役所、産文、中学、高校、駅の立地を踏まえ、その動線上がいい。利用者にとっても移動が楽で、市街地の活性化にもつながると思う。 3. 予算については、45 億円は高すぎる。建設費だけでなく、維持費も多大なものになると予想する。 規模を縮小して、よりコンパクトにし、将来の負担を軽減すべき。 市街地であれば、歩いたり自転車で行けるので、駐車場分もその分狭くていい。交流イベントや講演会等は産文の利活用や既存の公園を整備することでカバーできるのではと考える。 （糸魚川では、子育て複合施設の建設見送りとの報道あり） 立地場所が極めて重要、再優先課題であると考ええる。利用者にとって足を運び易く、市街地の活性化にもつながり、コスパ、タイパにも配慮して建設して欲しい。 「生活の音が感じられる街づくり。街に元気を！！」
38	1. 建設自体には反対はしない。 2. 胎内市の人口 2 万人位で 45 億円の費用を使って建設する意味が理解できない。 3. 理解できない理由として、胎内市は大きく分け、中条、築地、乙、黒川地区があり、中条内の市有地（通称：嘉平山）に建設すれば、多くの子供たちが車で送り迎えしない限り利用不可能である。 4. 建設しなければいけないのは理解もしているし、賛成であるので、1 カ所に集中ではなく、4 億円規模の施設を 6 カ所建設する方法が、各地域の住民の利便性向上になり、予算も半額ですむ。 5. 建設に対しワークショップで真摯な討論の結果を重々承知です。あれもこれも必要なことも分かりますが本当に必要？もう一度何のために、誰のために、いったい何を求めるのか考えていただきたい。
43	1 嘉平山の立地 （1）各年代の利用予測 1) 小学生が平日放課後自力で歩いて利用するには、学校から遠く無理がある。 2) 中学生も自力（徒歩・自転車）で利用するには、学校から遠く無理がある。平日の利用者は特定地域住民で限定的である。休日に自力で利用するにしても交通アクセスが悪いので利用は限定的になる。また十年後の統合中学校でも、乙・築地・黒川方面の生徒の利用は、親の送迎が望める休日以外は非常に少ないことは想像に難くない。統合中学校から徒歩圏内の立地であれば自習施設としてある程度の利用が考えられる。また、統合中学校の図書室とし図書館の統合も考えられる。 3) 中条高校は、少子化＋通学生の減少から持続可能性は非常に低いと想像される。また、中条高校及び開志国際高校の生徒とも胎内市民は限られているため、考慮する必要はあまりない。胎内市民の高校生の利用は下校時 J R 下車後ということになるので、嘉平山では利用は難しい。 4) 未就学児の利用は保護者と一緒ということになり、平日の利用は考えにくい。 5) 勤労者の平日昼間利用は限られている。 6) 現状図書館利用は高齢者が比較的多いが、高齢者で、自動車に乗らない・免許返納者が、デマンドタクシーでどれくらい利用してくれるか。高齢者のデマンドタクシー利用の実態はよくわからないが、毎日の買い物でも「とくし丸」を利用している現状がある。高齢者の利用は減ることが考えられる。 （2）徒歩利用できる市民は極めて少ない （1）から、嘉平山では、市の中心部から遠く徒歩での利用が難しいので、自動車が利用できない世代の利用に問題がある。「多世代交流拠点」（高齢者や子ども・子育て世代、学生などの若者にとっても利用しやすく、魅力的な施設とし、幅広い世代の方々が集い、交流できる施設）にはなり得ないことは明白である。地域内の方々が訪れることができる施設にはなるかもしれないが、気軽という点と地域外（近隣市町村）の方々の利用は考えにくい。 （3）先進地視察は参考にならない 新発田市や岩手県オガールイン紫波は施設がいずれも市中心部で J R 駅近くに立地している。人口規模や周辺地域の条件も違い参考にはならない。 （4）屋外施設（子どもの遊び場）とは何か 屋外施設は、山が近いのでクマ・サルなどの野生動物の接近が考えられる。 2 建設費用及び維持管理費等と効果について （1）事業費維持費の将来負担 事業費 4 5 億円程度、135,000 平方メートルの施設の年間維持費はどれくらいになると予測しているのか。胎内市より人口規模の大きい糸魚川市では、子育て支援複合施設（建設費 14 億 8 千万円、敷地 1,500 平方メートルで年間約 5 千万円の維持費）の建設計画を中止し計画を見直すことにしたというが、本市の事業では将来世代にどれくらいの負担を残すと予測しているのか。

	（２）費用対効果 基本計画の将来（2045 年）人口減少予測は楽観的過ぎる。黒川・中条の合併時平成 17 年（2005 年）から 20 年で約 6,000 人減少した。今後 20 年が 5,208 人減少では済まないだろうし、2045 年は 2 万人を割ることも十分考えられる。「あるにこしたことはない施設」又は、「あったらいい施設」建設は、は過去の「箱物行政」である。胎内市民の人口分布を考慮しない自動車利用を前提とした利用しづらい郊外にわざわざ施設を作る意味が分からない。 人口規模に見合った「身の丈に合った施設」や「なくてはならない施設」（上下水道や道路、橋などインフラ）の老朽化対策・維持を優先すべきであり、現施設の修復等でも目的は達成できる。 （３）現施設（図書館や公民館）の有効利活用 公民館機能・図書館機能・交流施設機能を集約のメリットもあるが、既存施設と利用目的が重なるものもあり無駄である。スポーツ的な活動はプレスポや総合グラウンド近辺の施設、サンビレッジ、廃校後の体育施設などが利用できる。音楽的な活動や美術芸術的活動は産業文化会館や（修復した）公民館が利用できる。既存施設の利用促進を図る方が費用の面から言っても得策であると考えられる。 3 代替案 （１）現公民館、旧町体育館付近は近隣畑地を含め、統合中学校の施設との連携が図りやすい。 （２）現図書館付近も駐車スペースの確保を考えたとき、施設を 2 階以上にし、1 階部分は入口のみとし残りを駐車場にすれば冬季の除雪対策になり、洪水時の避難所としても有効であると考えられる。
--	--

G 建設候補地及びこれまでの説明不足、今後の説明の徹底に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
16	◎生涯学習施設は町中心部に建設してもらいたい。ワークショップでもその建設場所として、市内中心地（利用者の中には車の運転ができない人も多くいる、高齢者や子どもたちが自転車・徒歩で行けるような場所に建設してほしい。）、中央公民館、旧町体育館跡地、市役所近くなどの意見がでていたと聞く。 ◎町中心部に人が集まる場所があれば、町に賑わいがうまれる。町の活性化につながる。その反対に、自転車や徒歩で行きづらいような離れた場所に建設されたら、最初のうちは人は集まるであろうが（そのうちに足は遠のく？）中心部から賑わいが失われ、ますます町の空洞化が進むことを懸念する。 ◎町体跡地辺りに建設されれば、隣接する中学校も授業の中で利用できるだろうし、小学生も十分活用できるはず。町の将来を担う子供たちの利用度も高まると思われる。 ◎そもそも生涯学習施設の候補地、建設について市行政の説明が全く不十分だと思う。（詳しくは市のホームページを見て下さい云々、これでは説明になっていない。） ◎是非とも市民に直接説明する機会を設けてほしい。こんな状況の中で突然 2 つの記事を目にして大変驚いた。 ①No.85 議会日より （議員）建設予定地として嘉平山が有力候補地になっているが、これは決定なのか。 （市長）「検討委員会」からの賛同を経て、予定地としては嘉平山を最適地と考えている。とのこと。 ※5/25（日）「市民と議会の意見交換会」に出席されていた検討委員会のお一人からは、その会では賛同する意見はでなかったという話である。（市長さんの発言内容とちがう？） ②新潟日報（5/21 付）の記事 あたかも嘉平山が第一候補地になっているかのような記事が載っていた。住民への説明が十分でないにもかかわらず、ほぼ嘉平山に決定したかのような記事内容に驚く。同時に市行政に不信感をもつ。 ◎住民への十分な説明なしのまま、住民が使用する施設建設地が決定されていくことは、住民軽視ではないだろうか。 ◎市長曰く、「嘉平山が長らく遊休地になっているのでその活用方法について様々な意見をもらった」とか、→市民のための施設建設地を考えてもらいたい。 ◎又、7 月には説明会を持つと日報の記事にはあるが、「候補地を嘉平山にする」旨の説明会だとすると言語同断である。しかも、このような重要な事柄なのに、何故、新聞報道で住民が知らされることになるのか。更には 25 日出席の議員さんからは「我々もこの新聞記事を見て驚きました」とのこと。かくも重要なことを住民も知らず、議員も知らぬまま決定されていくのか。だれが日報の記者にこれらの（候補地）情報を提供したのか。市長さんの責任で、この日報の記事を白紙撤回していただきたい。 ◎「施設の整備方針」コンセプトには「胎内市ならではの特性を活かした学びや遊びの場」とあるが、胎内市ならではの特性とは何か、嘉平山ではこの特性を活かせるのか。 ◎先日、嘉平山まで行ってきたが、進入禁止のロープがあり、中には入れなかった。地図を見てもかなり広大な土地である。延床面積 4,000 m²程度とあるが嘉平山は広すぎるのではないか。4,000 m²程度とはイメージがわからない。旧町体、公民館跡地では狭いのか。 ◎嘉平山のデメリット ・高台で坂道を登る必要がある。 ・国道 7 号線から見えないし、嘉平山からも 7 号線周辺が見えない。 ・町中心から少し遠い。 ・徒歩、自転車では交通量の多い国道は横断しにくいし、キケンである。 ・整備面積が広く、建設コストが高くなる。 ・インフラ整備のコストが高い。 ・除雪費用が増える。 ・クマ出没の可能性がある。 ・8・28 水害では甚大な被害がでた所である。 是非十分な検討と住民へのていねいな説明をお願いします。

H 建設候補地、概算事業費、予算・施設内容及び意見聴取の必要性に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
17	このたびの「生涯学習施設整備基本計画（案）」につきまして、未来志向の多世代交流拠点としての構想には共感いたします。しかしながら、下記の点について慎重な再検討と、より具体的な情報の開示・議論の深化をお願い申し上げます。 1. 施設の多機能化による焦点の曖昧さ 図書館、公民館、子育て支援、商業施設などの複合化は利便性向上に資する一方で、各機能の質や専門性が損なわれるおそれがございます。特に図書館機能が他用途に圧迫されることのないよう、必要面積や静穏性の確保など、専用性に配慮した設計が必要です。 2. 立地とアクセス性の課題 「駅近」「交通の便の良さ」といった条件が計画案には示されていますが、具体的な公共交通との接続、駐車場台数などについての明示がありません。高齢者・子育て世帯・車を持たない層など、多様な利用者の移動手段に配慮した立地・導線の検討を求めます。 3. 財政面での持続可能性 多機能施設の整備・維持には多大なコストが想定されます。今後の人口減少と税収縮小を見据えたうえで、施設の規模や機能を精査し、費用対効果や想定利用者数などの根拠を市民に明示すべきと考えます。運営段階での民間活用や収益確保策についても併せて検討されたいところです。 4. 市民参画の実効性 ワークショップ形式での意見聴取は評価すべき取り組みですが、参加者の年代・居住地域・職業などの属性データが示されておらず、多様な市民の声が反映されているか不透明です。今後も意見募集を継続し、そのプロセスと結果を可視化することが求められます。 5. 災害リスクへの配慮 整備予定地は、活断層である橿形断層帯の直上に位置し、大地震のリスクが指摘されているエリアです（出典：地震調査研究推進本部）。また候補地が山手に位置するため、豪雨災害時の土砂崩れの危険性も高く、災害に対する多層的な備えが必要です。 以下の対応を強く要望いたします：法定基準を上回る耐震設計（耐震等級 3 相当以上）、地盤・斜面の安定性調査と必要な改良工事、防災備蓄・衛生機能・非常電源などの整備 地域の避難拠点としての明確な位置づけ 6. 現中央公民館跡地の有効活用 現在の中央公民館の敷地には、既に広大な空き地が存在しています。都市インフラが整い利便性も高いこの立地を長期間遊休化しておくのは、市の資産運用として望ましいとは言えません。 以下のような活用を検討いただきたく存じます：市民活動拠点や学習機能の一部を分散配置 防災備蓄倉庫・一時避難所としての整備 多目的広場や屋外交流空間 市民提案型アイデア公募による用途決定 7. アクセス道路整備の検討について 現状、当該敷地へのアクセスは関沢側の狭小な道路に限られており、今後の来館者増加や緊急対応を考慮すれば交通容量が不十分です。 具体的には、国道 7 号線からの直接乗り入れを可能とする道路整備を検討いただきたく、特に「星の宮音楽堂」と「トヨタカラー中条店」の間の道路を、片側 1 車線ずつの計 2 車線道路に拡幅する案をご提案いたします。 加えて、歩行者の安全性を高めるため、単なる横断歩道だけでなく地下歩道の整備も併せてご検討ください。 8. 市街地の空洞化への対応 胎内市においては、中心市街地の人口流出や商業縮退により、空洞化が進行しております。このような背景の中、施設の新設が郊外偏重になれば、中心市街地の衰退を一層加速させるおそれがございます。 中心地の空き地や空き店舗等、既存の都市ストックを活用しながら、施設整備をまちづくりの一環として捉え、以下のような観点から再検討をお願いいたします： 「まちなか回遊性」を生む立地と動線計画 地域商業・医療・福祉との連携 中心市街地活性化との整合性確保 以上 8 点につき、再考とさらなる具体化をお願い申し上げます。生涯学習施設が「教育の場」としてだけでなく、「市民の居場所」「地域再生の起点」として機能

	することを願っております。
--	---------------

I 建設候補地、概算事業費・予算、施設内容、これまでの事業推進の経緯及び計画の個別の記載内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
9	①本当に図書館と生涯学習施設を統合する必要があるか分からなかった。 人口減少と低予算を考慮するならば、ある程度既存の施設を活用・改修して市内の数ヶ所に分散した方が学生や高齢者にとっての利便性も現実性も高いと推察する。 ②“サウンディング型市場調査”を基に現案の「嘉平山」へと決定した経緯が良く分からないため、説明を市民に十分に実施してほしい。 現案には旧案の駅前やふれすぽが外されているが、そもそも「必要な施設の面積」「駐車場なども含む必要面積」などの記載がなく、妥当性の判断が難しいと言わざるを得ない。また、旧中央公民館や旧図書館の課題をクリアしているのか、「胎内らしさ」をどう実現するか等も御説明願いたい。 ③対案として旧中条町体育館跡地等も候補に入れることをお願いしたい。

J 施設内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
11	私は新発田市の図書館、生涯学習センターへ永年通い続けてきました。運動と気分転換が目的です。胎内市でも建設予定があり、その時は利用もかなわない年齢になっていますが、少しでも参考になれば幸いです。 ①持参した弁当を食べられるブースを作ってください。ここには自販機（パン、ラーメン等）があり、おしゃべりもできます。店員のいるカフェは利益が出ないでしょう。 ②建物の外周には樹木があり、ここに長椅子を置いて下さい。自然がいっぱいの環境らしいので、散策のあと寝そべることもできます。 ③人間コインランドリー（暖房脱衣室付シャワールーム）はどうでしょう。一人ぐらしの老人がここで安心してシャワーできます。 ④学生の自習スペースを広く作ってください。受験シーズンになると満席になり、それ以外は閑散としているのが図書館です。空く時期には他の目的に使えます。 ⑤7号線の交差点に横断マークをつけて下さい。学生は自転車で通うと思います。 ＊先日読んだ本の中で「新潟県あれこれ」で胎内市の住みやすさは6位でした。新発田、村上はずっと下位の方でした。何を基準にしたかはわかりませんが、個人的にはコンパクトシティだからこその利便性があると思っています。
29	小学校3年生と年少の子をフルタイムの仕事をしながら育てています。 土日にはほんとにほっとの子育て支援センターで年少の子を遊ばせたいと思っていますが、小学生が利用できず、年少の子と一緒に連れて行くことができません。その為、村上市や新発田市の遊び場に連れて行くことが多いです。トランポリンがある遊び場が子どもたちのお気に入りで、胎内市にもあるといいなと思っています。図書館も好きなので良く通っていますが、長岡市の五尊文庫のような、デザインにこだわった建築だと、他市町村の方も来てくれて経済効果もあるのではないかと、桐生建設さんがいいなと個人的に思っています。
39	利用者を子供、子育て世代を中心にとのことだが、実際に胎内市で人口が多いのは高齢者ではないかと思われる。 まだまだ元気な60歳以上の退職された方や、子育てを終え時間ができ生涯学習を始めたいと思っている世代が、現実的に平日の日中に利用できるのではないか(利用時間をどのように設定するかわからないが)。 これらの層が有意義に利用できる事が重要だと思う。 また図書館は私のような50代は大いに活用したく、小さい子供対象のエリアと、静かに利用したい大人や学習スペースのエリアとを分けて欲しい。 新発田市のようにパソコン利用や上階で景色を眺められたり飲み物を飲めたりと、本を見る以外の付加価値があっても良いと思う。 自然の多い地域に建設するのであれば、軽くウォーキングができる遊歩道や野外の休憩スペースなどもあれば、さほど管理もいらなしどの世代も健康的に利用できる。 全体的に、異世代交流も大切だが子供、親、社会人、主婦、高齢者が、それぞれがそれぞれの目的で利用できる施設にして欲しい。
40	初めまして長岡出身で結婚を期に旦那の仕事場がある胎内市へ越してきました。現在、大川町に家を建築中で、胎内にこのまま住んでいく予定です。 3歳・1歳の子を近くにあまり頼る者がいない中、育てています。なので、市の預かりやサポート、育児が充実する支援などのキッカケになればと意見させていただきたいと思います。 ①こどもの広場、屋外子ども広場について ・未就学児、小学生も一緒に遊べる屋内遊び場が必要と思います。子どもが減っていると言いますが、周囲には子3人以上育てている方々も結構います。現在あるHot ほっとの「きらら」などの遊び場だと兄弟をまとめて見るできないという問題が生じています。歳が離れた子たちでも、仲良く安全にあそべる場が今の胎内市には必要だと思います。(授乳室、オムツ替え場、大きめのトイレ、あるとありがたいです) 飲食OKの場所(イス、おちるとこわいので床マットなども良いかも)も欲しいです。 具体的な遊具：すべり台、ブランコ、アスレチックなど 屋内：木のおままごと、すべり台、サイバーホイール、エアートランポリン、ネット遊具、ブロック、パズル ※ボールプールなど魅力的ですが衛生面、管理面からやめた方が良いでしょう。 ・飲食の場所、休憩場所などは、コンセプト的にお年寄りなども気軽に利用できると子育て世代との交流になるように同じ場所でも良いのではと思います、子連れしているとよくお年寄りに話し掛けられるので、そういった関わりを大切にしていければ良いのではないのでしょうか？ ②図書館機能について ・今の図書館は階段が急すぎなのでゆるやかに上げれるスロープやエレベーター必要(ex.小千谷のホントカのお子様スペースみたいにゆるく、ひろびろと段差をつけてあるのですごく良いと思います) ・種類少なすぎるので増やしてほしい。 ・現在の図書館を分室として残すのはどうか(地域資源として使っている施設もある。子の保育園で歩いて借りに行ったりしているので)もしくは移動式図書館、出張イベントとか実施してほしい。 ・表紙が見えるような本棚をもっとおいてほしい(子どもも大人も選びやすいユニバーサルデザインなものを) ③公民館施設について ・キッチンスタジオはHot ほっとにもあるのであるものについてはもっとしっかり検討した方がコストカットになるのでは？作るのであれば、同時にどんなことを企画するのかイベントも同時に考えた方が良いでしょう。(若者とコラボ～とか、お年寄りと子どもでお料理教室～とかであれば広めのキッチンスタジオ良いですね) ・駅のピアノ移動させればもっと活躍するかもですね。 ・近くに音楽ホールできてますが、かぶる機能があるならそちらを利用するとか市とコラボ？提携させるのはどうなのか ・ぶれすぽ、Hot ほっと、その他施設とかぶるものよく検討しないとかなと思います。

	①全天候型遊技場の設置に関する要望 阿賀野市のあがりーなや新発田市のイクネスのような 6～8 歳以下の乳幼児・児童が遊ぶことのできる全天候型の遊技場を設置してください。（他の市町村の方も利用できるようにするのもよいと思います。） 理由 保育園では、お盆や年度初め・年度末には家庭でみなくてはいけません。ほんと HOT などでは場所や遊び道具などが不十分で3歳以上の子どもが体を動かすことが難しいです。また、安全面や動きの度合などから3歳未満と3歳以上で場所が分かれることがあり、ついていない方に何かあってはと思うと兄弟で連れて行くのがためらわれます。それに、屋外遊技場だけでは、雨天時や冬季間の遊びに対応できません。阿賀野市に行くガソリン代を考えると1家族300円未満なら使用料がかかっても楽しめれば満足できると思います。 ②トイレに関する要望 明るくて個室が多めのトイレにしてください。また、おむつ交換や汚した服の交換ができるスペース、トイレトレーニング中のこどもが使えるトイレ（靴を脱いでズボンやパンツも脱いで用を足すので20kgの子でも上がることのできる段などが必要）も併設してください。さらに、交換したおむつを捨てることができるようにしてください。 また、小さな子どもでも手が届く手洗い場も設置してください。 理由 子連れで行く方も多いと思われます。小さい子どものことを考えるとトイレ関係が充実していないと利用しづらいです。いろいろな場面を想定した作りになっていると安心して利用できます。 ③調理室に関する要望 冷暖房を備え、最低でも先生用の調理台1台と生徒用の調理台4台があり、オープンや電子レンジなどの機器をはじめコンロなどいろいろな食べ物を作ることができる設備を充実させてください。 理由 自分が知っている冷暖房完備で調理台の多い胎内市の調理スタジオは、ほんと HOT だけです。生涯学習では、食文化の伝承や交流などいろいろな食を作ることが考えられます。食の面でも希望する方が教えたり、学んだりしていく場があってほしいと思います。 ④飲食に関する要望 敷地内に道の駅やコンビニを誘致する、月替わり・週替わりで移動販売車などに来てもらう、軽食の販売や売店を置くなどして飲食の場を提供してください。また、室内外ともに持ち込んで飲食できる広めのスペースの確保（小さい子向けの椅子があったり、上がり席になっていて座ることができたるする）やミルクを作ることのできる設備もお願いします。 理由 あがりーなに孫を連れて行った際は、併設の道の駅のフードコートを利用しますが、混んでいて座る場所探しに困ることがありました。待てないときは、外の座ることのできる場所を見つけてそこで食べさせることもあります。食べる場所は屋根があって濡れないこと、バックなどが風で飛ばされないこと、座る高さテーブルが合っていることが大事だなと痛感しています。 ⑤学習スペースに関する要望 騒がしいときに声をかける職員やボランティアがいて常に人の目が届くようにしてください。また、広くて明るいスペースにしてください。 理由 何かあってもすぐに職員やボランティアが来てくれれば安心して学習できると思います。また、そういった環境であれば騒ぐ人もなく学習が進むと思いますし、送り出す家族も安心だと思います。
56	施設概要を拝見いたしました。 とても充実した内容で、幹線道路に近接した地域と言う事もあり、素晴らしい計画だと感じました。 まずは、予算についてです。あくまでも当該立地予定箇所が市の所有施設と言う見解からだと存じますが交付金2種が記載されています。建設予定地については森林という事もあるので森林環境税を予算に組み込む事は出来ないのでしょうか？理由は以下の通りです。 「熊との共存共生：安全な里山暮らしについて」 ・私有地周辺は個人、法人所有の林地があり、その林地の整備がなされない事から山と里山の区別が無い状態が長らく続いており、この結果、この奥にある飯角～嘉平山～関沢～長橋へと熊の通り道にもなっています。 生涯学習センター建設予定地周辺である事もかんがみ、近接林地の森林整備、もしくは施設一体化をご検討頂ければと存じます。 「側道（命の道路）の整備について」 また、国道7号線4車線化する際に、側道の整備を条件となされた記憶があります。これは中央分離帯がある事、付近に幹線道路に沿った道路が無いことから、災害対応、渋滞緩和を目的としての条件だったと聞いたことがあります。 ですが、今現在、側道の整備はなされていません。万が一、飯角川が土砂災害などに遭った場合、もしくは地震などで飯角と七号線を結ぶ橋が崩落した場合、半山や飯角に住まう方の安全保障を想定し、このセンター周辺に側道を整備することを御検討して頂きたいと存じます。 「観光客の防災対策」について とう設置予定地は幹線国道沿線と言う事、また、胎内市はスキー場、ゴルフ場など、その他四季折々のイベントで他市町村からの来訪者もあると存じます。そういう方々にとっても、幹線国道沿線施設は万が一のよりどころになると考えます。よって、既に織り込み済みかもしれませんが防災対策、関連施設整備も併せて行っていたいただければと存じます。 「多目的広場、子供の遊び場」について。 今の世の中は「皆で子供達を育む」感覚の度が過ぎている方もいらっしゃるのか、子供達が自由な発想で自由に遊べる場所に恵まれているとは思えません。そのせいか、子供達が昔のように怪我を承知で全力で遊べる機会に恵まれません。結果的に、その有り余る力の発散場所が最悪の場合、学校というようにも見受けられます。 子供達が周囲に気兼ねせず（適度な節度と大人の適度な見守りは必要ですが）伸び伸びと遊べる場所の設置を望みます。 裸足で遊べて泥まみれになって楽しめるような遊び方が出来たら良いなと勝手に考えています。

	「多目的広場：ロコモティブシンドローム解消」について。 子供たちの遊び場についても触れましたが雪に見舞われ運動不足になりがちな冬場、梅雨の時期であっても、風雨を避けられ土の上で運動、ウォーキングが出来るような施設が併設されると高齢者の方も含めてロコモティブシンドローム解消につながると考えます。運動機能低下は内臓および認知機能低下にもつながると認知専門看護師に教えて頂いたことがございます。 長くなりましたが上記５点、を意見要望として提出いたします。ご検討をお願い申し上げます。
--	--

K 計画の個別の記載内容に関するもの

1 寄せられたご意見

受付 No.	ご意見
28	◆全般 パブコメ対象の「整備基本計画」は、普通の市民が、普通に理解できる読み物になっているか？ および、不特定多数の市民が利用できる計画になっているか？ に絞って意見する。 ◆1P 「本計画は、基本構想に基づき・・・」と云いつつ構想の説明が一切ない。説明が無い当計画書以外に、情報を持たない市民が適切な意見を述べるのは難しい。同様の記述は 8P、9P、11P、17P、18P、22P にもある。必ず整理されたい。 ◆2P.3P 計画（案）策定に至るプロセスが重要。ここが理解できないとパブコメ応募など、できようもないので敢えて指摘する。R6 年 10 月 7 日の同様な質問への R6 年 11 月 15 日の回答は「要点を整理し、整い次第公表する」だった。よって敢えて重ねての指摘になる。当該質問および回答は別添 PDF「①生涯学習施設 質問と回答」ご参照。（※胎内市：添付は省略します。） ①庁内検討プロジェクトチーム（以降、PT1 と記述）の任務とチーム構成を説明する。 ②第 1 回～5 回 PT1 会議での検討事項と決定事項を説明する。22P 以降に記載があるような参考資料としてもよい。備考欄の文言から具体をイメージするのは難しい。特に気になる「新たな施設を建設しない方法での施設づくり」「コスト試算報告」「建設候補地と機能」は具体的内容と結果を説明する。 ③生涯学習施設整備検討委員会（以降、検討委員会と記述）の任務とチーム構成を説明する。 ④1 回～3 回検討委員会での検討事項と決定事項を説明にする。 ⑤先進地視察（新発田、オガール）の視察チーム構成と視察結果を説明する。 ⑥R2.5.28 記載の基本構想はいつ、誰が作成したのかを説明する。 ⑦R4.3.8 記載の検討委員会書面協議とは誰が何をしたのかを説明にする。 ⑧R4.4 記載の構想（案）を作成した主体チーム（PT1？検討委員会？）、及び構想概要を説明する。22P 以降に記載があるような参考資料としてもよい。 ⑨R4.12.27 以降に記載のプロジェクトチーム（以降 PT2 と記述）の任務とチーム構成および PT 1・検討委員会との関係性を説明する。 ⑩第 1 回～6 回 PT 2 会議での検討事項と決定事項を説明する。22P 以降に記載があるような参考資料としてもよい。 ⑪R5.3 記載の基本構想を策定した主体チーム（PT1？検討委員会？PT2？）あるいは、その関係者を説明する。基本構想は整備計画書に添付、または部分引用して説明する。22P 以降に記載があるような参考資料としてもよい。 ⑫R6.6.5 以降の要点（経緯表の備考に対応）は整備計画書に添付して説明する。 ⑬R7.3.4 ワーキンググループ参加者←ワークショップ参加者では。 ⑭R7.3.末 整備基本計画を策定した主体チーム（PT1？PT2？）あるいは関係者を説明する。 ⑮表内下記ワードは用語解説が必要。 PPP・PFI・サウンディング型市場調査・北陸ブロックプラットフォームサウンディング ⑯R6.9.19 見学会・見学←視察会・視察では。 ⑰表欄外下段「基本計画（案）策定後はパブコメを実施し、市民から広く意見を求める予定」は誰に向けたコメントなのか。市長か市議会かその他か。対市民以外の文言は削除する。 ◆5P ①貸出利用者が（延べ人）であれば（個人）の数値が必要。もって利用者の人口比率を把握し図書館規模設定の参考にすべき。 ②団体貸出し、とは何か。 ③登録者数、とは何か。 ④新潟県の図書館 2022、とは何か。 関係者のみ知る用語による計画書は市民への配慮が足りない。 ◆7P 市民の要望による内容であることが分かるように、8P のコンセプトおよび 11P 以降の施設計画の項目やワードにチェック印を付す。 ◆8P ①基本構想を踏まえ・・・とあるが、構想を提示しない展開はあり得ない。 同様の構文が本書の各所（1P、9P、11P、17P、18P、22P）に散見される。 ②「つなぎ・育む」って？イメージが湧かない。 このコンセプトは P7「市民の要望」のどこから導かれたのか、例えば 7 ページのワードから引用するなど、具体的内容と関連付ける必要がある。例えば「いつでも、誰でも、気軽に、楽しく」のように一目瞭然がコンセプトだと思う。 ③コンセプトイメージとして、多様なニーズ、胎内市ならではの特性、文化活動の場、交流の促進、魅力的な施設、等々抽象的・概念的ワードを羅列されても、全くイメージできない。敢えて言うと、この項は不要。 ◆9P

①防災機能強化、って何？ ②ユニバーサルデザイン、って何？ ③Society 5.0、って何？ ④表中「区分」←「3つの主要機能」とするなど、前段の文章と表の説明の整合性を図る。 ⑤いきなりのSDGsと各アイコンのコメントと当施設との関連が分からない。どうしても必要であれば整備方針等のワードを引用して説明する。 理解不能な説明に触れ、市民感覚から縁遠く誰に向けての計画書かと思う。 ◆10P ①民間事業者がごく少数←何社だったのか。 ②結果を説明する。 ③希望の持てる提案、って何？ ④従来型の整備手法、って何？ ⑤連携手法として有利な方策、って何？ 関係者のみが理解できる記述は市民への情報提供になり得ない。 ◆11P ①配置計画「敷地の有効活用」は建設地を定めた後の検討事項なので、文脈としては19P以降に記述するのが正しい。 ②「Ⅲ施設計画」の第1項目は建設候補地とすべき。ここを決めないと、以降の項目を決めるのは難しい。文脈が成り立たない。 ◆12P13P14P15P 検討委員会およびワークショップ参画者の意見に基づく内容および事項であることが分かるようチェック印（※など）を付す。市民意見とのマッチングが大事。 ◆17P この延床面積はコンセプトに基づく面積←機能検討図に基づく面積、では。 ◆18P ①嘉平山を有力候補地には唐突感と違和感を覚える。 ②嘉平山は7P、ワークショップで示した提案場所と真逆な場所になる。 最大の根拠を「広い市有地」としているが、もし当地が民有地だったとしても候補地としたのかと思う。そこは是非、聞きたい。 ③R6年8月付け「整備基本計画」で示した建設候補地「中条駅付近、ぶれすぽ付近、中条体育館跡地」の記述がないのは、結果的に他の候補地を市民の目から逸らしたことになる。もってパブコメという論理が分からない。 ④同「整備基本計画」で示した各候補地を視察し、比較表（メリット・デメリット）を参考に点数化してみた。得点結果は駅周辺(7点)、体育館跡(5点)、ぶれすぽ付近(−2点)、嘉平山(−12点)の順になった。別添PDF「②生涯学習施設候補地レビュー」参照。（※胎内市：添付は省略します。） ⑤よって嘉平山にだけは、多くの市民が利用する施設を建設してはいけないと思う。現在の図書館、公民館には、徒歩や自転車で通所している方が少なくない実態を無視してはならない。より多くの市民が最適地とする場所に、望む機能を可能な限り集約するのが市民協働であり行政の務めである。 ⑥本来は市民が望む場所を聴取後に、整備計画を策定すべきだった。しかし行政の都合で「嘉平山」ありきで計画書を作成しパブコメを実施した。計画書の提示だけで意見を求めるのは、いかにも乱暴である。 ⑦ここに至っては仕方ないのでパブコメ後であっても、改めて、市民が望む場所を聴取する必要がある。特に現在の利用者、将来利用する児童や生徒からの意見聴取は必須である。 ⑧意見聴取の前提として大事なのは関係者への情報提供になる。各候補地の視察やメリット、デメリットを説明した後に意見聴取を行う。サウンディング市場調査と同様のプロセスが必然である。 ⑨行政としての嘉平山活用策は、ゼロカーボン宣言都市として樹木移植による緑地化も考えたいが、表土を剥いだ荒地なので地力が無く樹木成長に難があるかもしれない。実際、粘土質湿原化した当地には灌木さえ生えていない。最善策は再エネ思考の太陽光発電が有効だと思う。 ◆P20 ①概算とはいえ事業費45億円程度は、いかにも漠然として説得力がない。嘉平山を是とはしないが、整地費用・インフラ整備費用・設計費用・建設費用・内装費用・機器設備費用・用品調達費用、等々、大枠の費目程度の提示は必要。 ②事業費は候補地選定の最重要な選択肢になる。前述した他の候補地の事業費も提示すべきである。 《パブコメについて》 【パブリックコメントとは】胎内市HP引用 ◆パブリックコメントとは、市が「条例・規則・政策・計画などを制定または改廃する際」に、市民や関係者から意見や提案を募る手続のことを指します。これにより、政策決定において透明性や公平性が確保され、広範な意見を反映させることができます。 ◆パブリックコメント手続の対象は、次に掲げる計画等の制定又は改廃などです。 ① 総合計画等市の基本的政策を定める計画、各行政分野における施策の基本方針・計画市政の基本事項を定めることを内容とする条例。 ② 市民等に義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例その他市民生活又は事業活動に直接かつ重大な影響を与える条例。 ③ 市民生活又は事業活動に直接かつ重大な影響を与える規則。

	(①②③はどちらかと云えば議会審議対象と思われる) ④ 実施機関がパブリックコメント手続を実施することが適当と判断したもの。(今回の生涯学習施設は行政の都合でムリクリ④に押し込めた) ◆令和6年度パブコメ実施結果 案件5件中、応募ゼロ4件、応募1名1件 (結果的に敷居が高いのが実態) ≪意見≫ ①妻の意見「駅周辺が良い。運転免許を返上したので、今は孫を連れて歩いて行けるが嘉平山は無理！」 ②私、パブコメ用紙を渡して「今の意見を書いて出して」 妻「エッ！名前を書くの？イヤだ。名前が要らないのなら、直ぐに出す！」 ③生涯学習施設は全市民に関わる事業である。一部の市民だけが意見を述べるパブコメという手法は適切でない。様々な選択肢を示して意見を求めるのが市民参加、市民協働の基本である。 ④今回のパブコメ対象、特に建設場所についてはアンケート実施が必須である。 以上
--	---

L 概算事業費、予算及び施設内容に関するもの

1 寄せられたご意見

付 No.	ご意見
19	財政難ですから、既存の建物を有効利用してください。公民館と図書館共々、収益に繋がる施設ではありませんから既成概念にとらわれず不要なものは不要と考えます。